

おもしろく おがすぐ さほごと

## 老松地区地域づくり計画書



平成 27 年 6 月

老松みどりの郷協議会



# 老松地区地域づくり計画書 目次

はじめに	.....	P1
<b>第1章 地区概要</b>		
1 地理と概況	.....	P2
(1) 位置・概況	.....	P2
(2) 面積	.....	P2
2 世帯数・人口	.....	P3～P5
(1) 世帯数・人口の推移	.....	P3～P4
(2) 行政区・男女年代別の人口	.....	P5
<b>第2章 地域協働体</b>		
1 老松みどりの郷協議会	.....	P6～P9
(1) 協議会設立までの経過	.....	P6～P7
(2) 協議会設立後の事業経過	.....	P8
(3) 協議会の組織図	.....	P9
<b>第3章 地域づくり計画</b>		
1 地域づくりの方針	.....	P10
(1) 地域づくりの目的	.....	P10
(2) 地域づくりの目標	.....	P10
(3) 地域のスローガン	.....	P10
2 地域の課題	.....	P10～P12
(1) 生活環境	.....	P10
(2) 産業の振興	.....	P10～P11
(3) 地域の安全	.....	P11
(4) 福祉と健康	.....	P11～P12
(5) スポーツ交流	.....	P12
(6) 文化と生涯学習	.....	P12
3 地域づくり計画	.....	P13～P21
(1) 地域環境部	.....	P13～P15
(2) 地域振興部	.....	P16
(3) 地域安全部	.....	P17～P18
(4) 地域福祉部	.....	P19
(5) 体育振興部	.....	P20
(6) 教育文化部	.....	P21

4 集落の課題と地域の事業計画	.....	P22～P34
5 構成団体等の平成27年度事業計画	.....	P35～P38

#### 第4章 資料編

1 老松みどりの郷協議会規約・運営規定	.....	P39～P43
2 老松みどりの郷協議会委員名簿	.....	P44～P46
(1) 老松みどりの郷協議会設立委員	.....	P44
(2) 老松みどりの郷協議会役員	.....	P45
(3) 老松みどりの郷協議会専門部員	.....	P46
3 老松地区発行冊子	.....	P47
4 防災資料	.....	P48～P49

## はじめに

日頃、老松みどりの郷協議会に皆様から温かいご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

3月末日をもち、老松公民館が60年に及ぶ長い歴史に幕を閉じ、4月より「老松市民センター」として新たなスタートを迎えました。

市が進める協働のまちづくりにより、老松地区においても昨年の6月29日に「老松みどりの郷協議会」を発足しました。市民センターでの社会教育を含めた生涯学習事業と合わせ、地域が主体となった協働体制を充実させるとともに、地域課題の把握・解決に向けた取り組みを、各集落や関係団体との協働のもとに老松の地域づくりを推進してまいります。

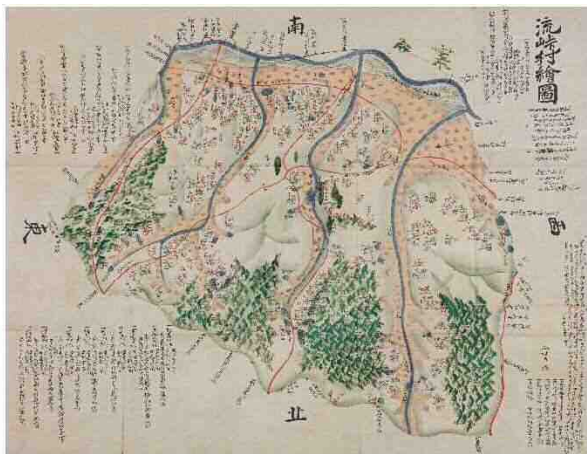
地域社会を取り巻く環境は年々変化してきており、老松地区においても人口減少とともに少子高齢化が加速しており、集落によっては事業への参加や、集落の共同活動が困難になってきている現状も見られます。

地域づくり計画は、このような地域課題の掘り起こしや対策等を検討し、「豊かな住みよい地域を目指す」ことを目標に策定いたしました。

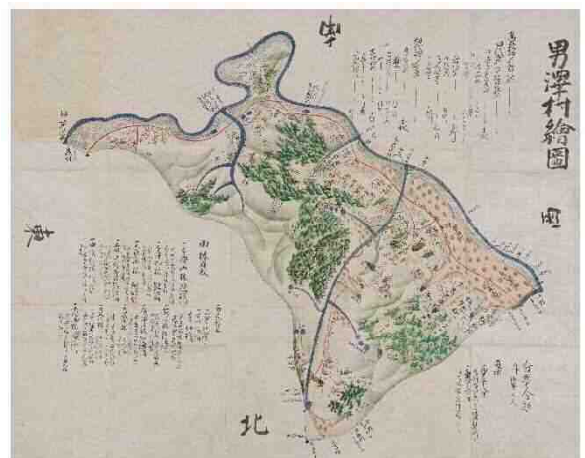
この計画書の策定にあたり、集落公民館長や行政区長をはじめ各種団体の代表者の皆様方のご協力をいただき心から感謝申し上げます。

平成27年6月

老松みどりの郷協議会  
会長 阿部孝志



流峠村絵図



男澤村絵図



# 第 1 章 地 区 概 要





# 第1章 地区概要

## 1 地理と概況

### (1) 位置・概況

老松地区は、花泉町の中心部を南北に流れる金流川の東側に位置し、北に金沢地区、東に日形地区、南に永井地区、西に金流川を挟み涌津・花泉地区と接する南北に細長い農村地帯です。

平成26年8月に、地区西側の圃場整備地内を通る国道342号花泉バイパスが全線開通し、住民の交通安全の確保や観光振興などに効果が期待されています。

公的施設は、地区中心部に老松小学校、老松市民センターがあり、西側には、花泉総合福祉センター、花泉体育館があり、それぞれの施設は、災害時の避難施設となっております。

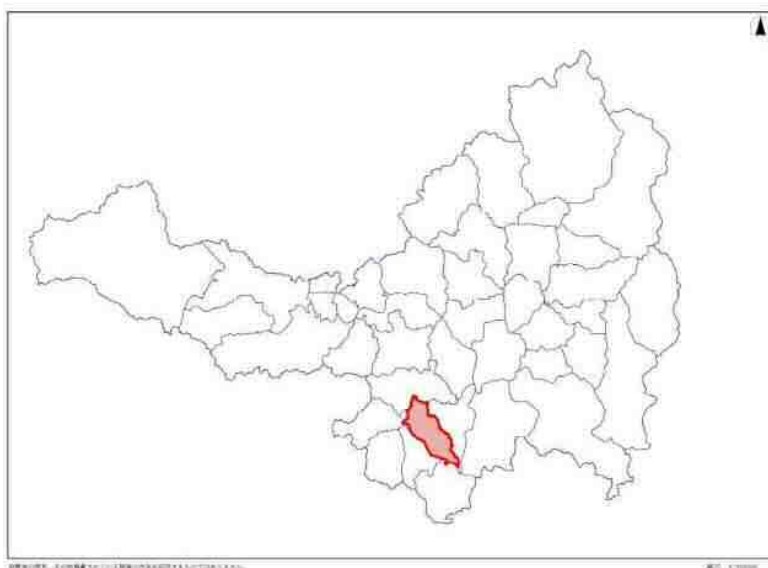
また、地区の南側に花泉の観光施設である「花と泉の公園」が平成7年に開園し、5月のぼたん祭りには、市内外より多くの観光客が訪れ賑わいをみせています。

老松地区は、明治8年に旧峠村と旧男澤村が合併して、旧老松村となりました。名称の由来は、宮沢の千葉大学宅の邸内に、周りが1丈位、枝が6間余りに広がっている笠松の銘木があり、この松に因んで「老松」となったものと言われてしています。

先人には、義民千葉惣左エ門や和算家の千葉胤秀、医学者の千葉理安を輩出しており、その屋敷等の文化資料は、地域の方々により保存活用されています。

### (2) 面積

15.09 km<sup>2</sup> (花泉町 126.83 km<sup>2</sup>)



## 2 世帯数・人口

### (1) 世帯数・人口の推移

老松地区は、昭和50年代までは人口・世帯数とも年々増加傾向にあったが、近年急速に人口減少が続いており、平成26年10月1日現在で、65歳以上の高齢化率が33.4%となっています。

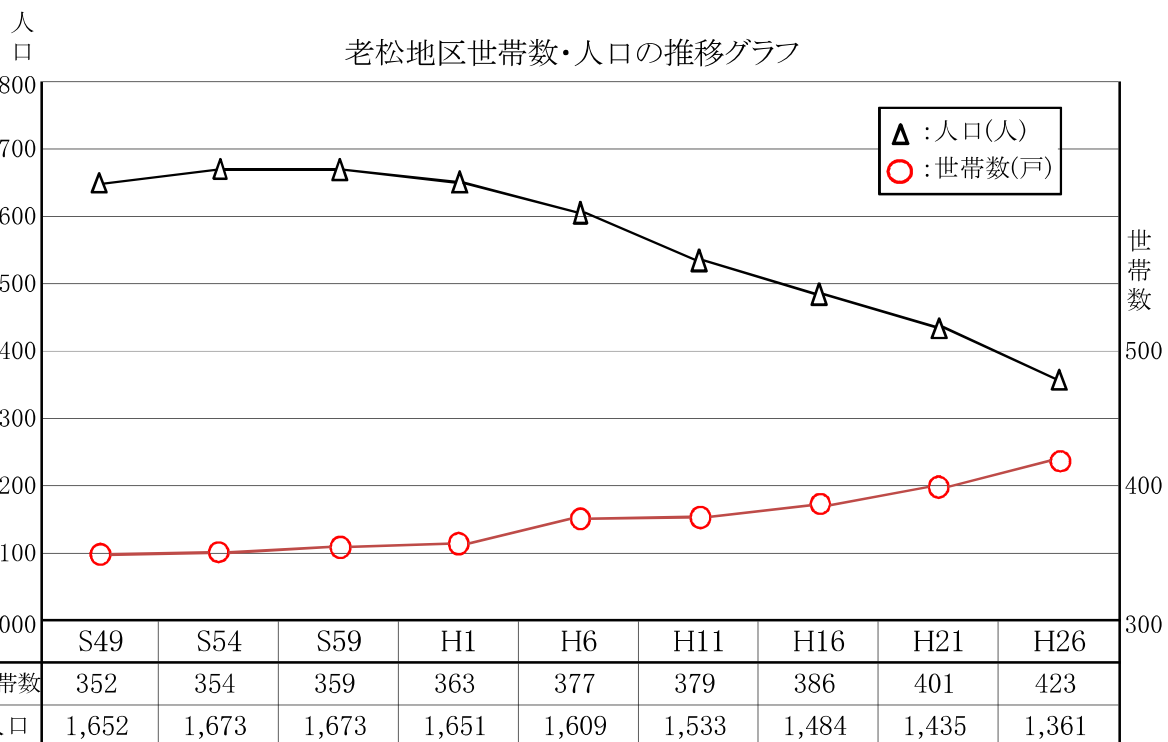
また、人口が減少している中で世帯数は増加していることから、核家族世帯の増加や1世帯当たりの家族数が減少しているためと考えられます。

なお、平成25、26年には、北上川狭隘地区治水対策事業により、藤沢町や日形の下清水、沼田地区からの移住により人口が増加しましたが、今後は人口減少とともに少子高齢化が加速していくものと予測されます。

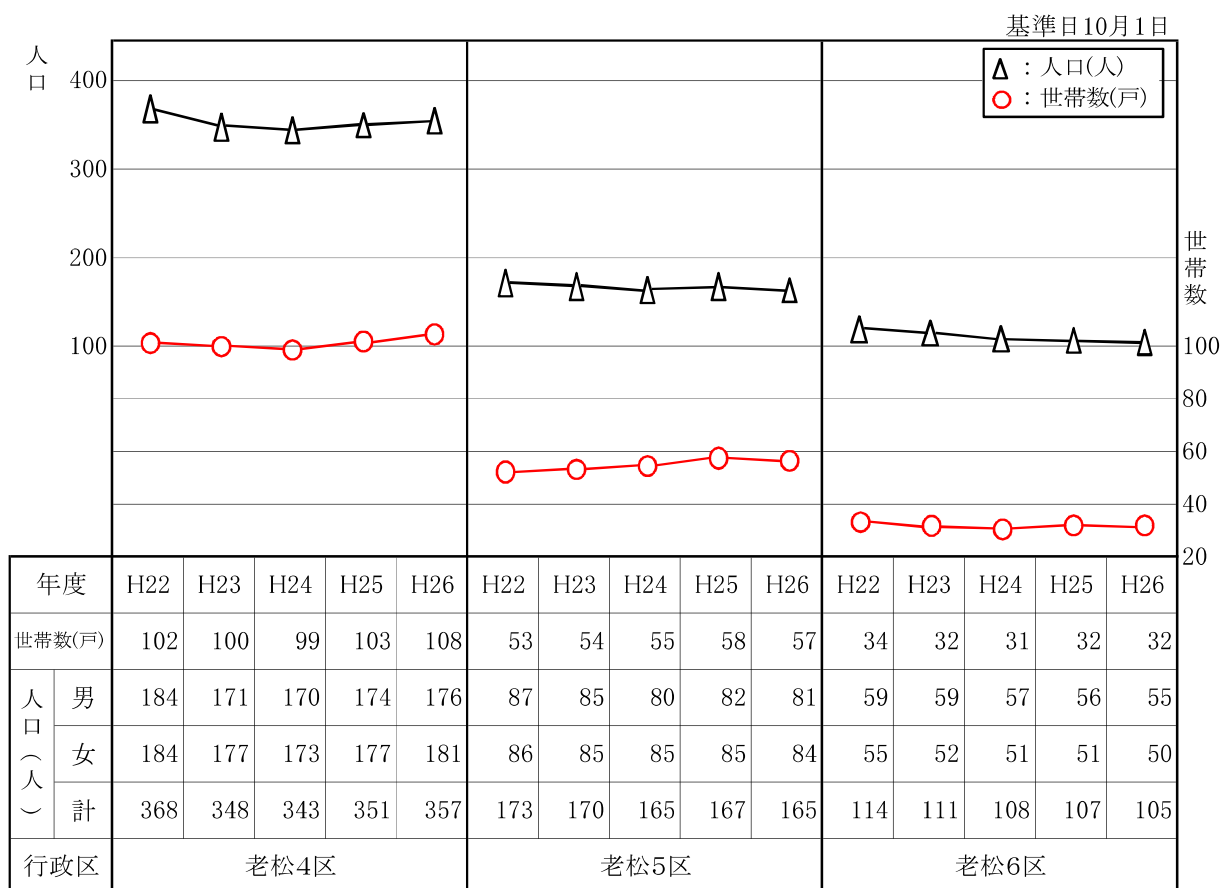
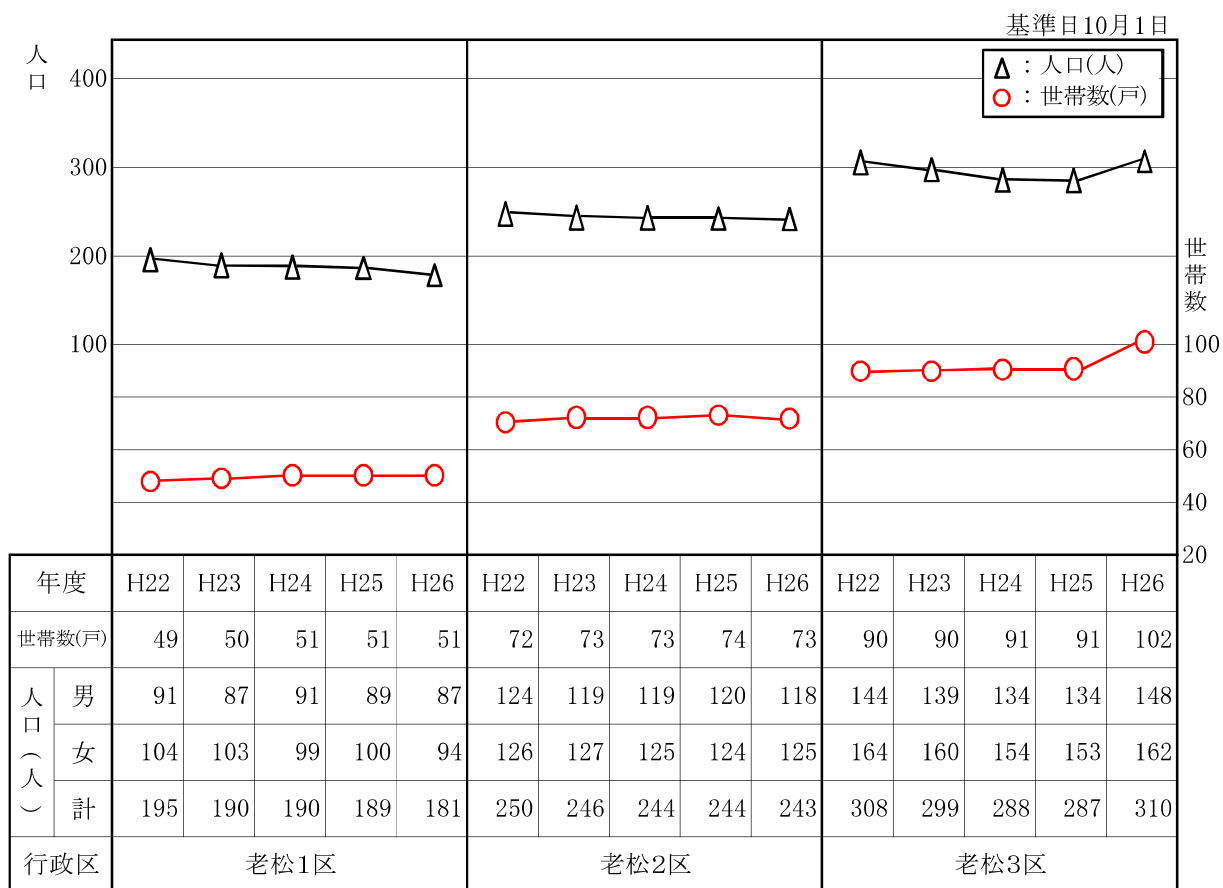
#### ア 世帯数・人口の推移

基準日10月1日

年度	老松地区						花泉町					
	世帯数(戸)		人 口 (人)				世帯数(戸)		人 口 (人)			
	世帯	増減	男	女	合計	増減	世帯	増減	男	女	合計	増減
S 49	352		803	849	1,652		4,048		8,785	9,429	18,214	
S 54	354	2	829	844	1,673	21	4,088	40	8,702	9,227	17,929	-285
S 59	359	5	837	836	1,673	0	4,117	29	8,621	9,128	17,749	-180
H 1	363	4	821	830	1,651	-22	4,250	133	8,492	9,095	17,587	-162
H 6	377	14	809	800	1,609	-42	4,317	67	8,255	8,779	17,034	-553
H 11	379	2	768	765	1,533	-76	4,509	192	8,035	8,574	16,609	-425
H 16	386	7	742	742	1,484	-49	4,632	123	7,719	8,248	15,967	-642
H 21	401	15	707	728	1,435	-49	4,681	49	7,173	7,782	14,955	-1,012
H 26	423	22	665	696	1,361	-74	4,686	5	6,667	7,194	13,861	-1,094



イ 過去5年の行政区別世帯数・人口の推移

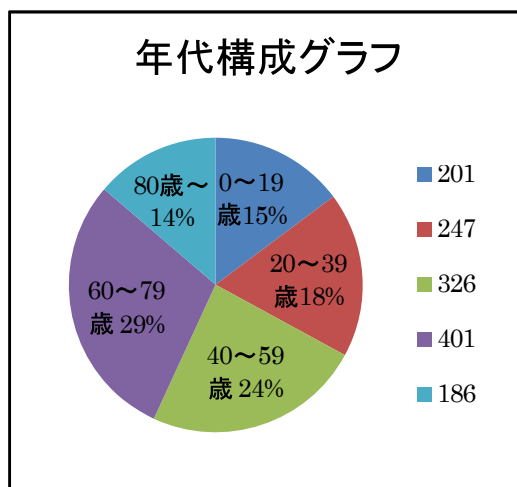


(2) 行政区・男女年代別の人口

ア 行政区別年代人口

基準日平成26年10月1日

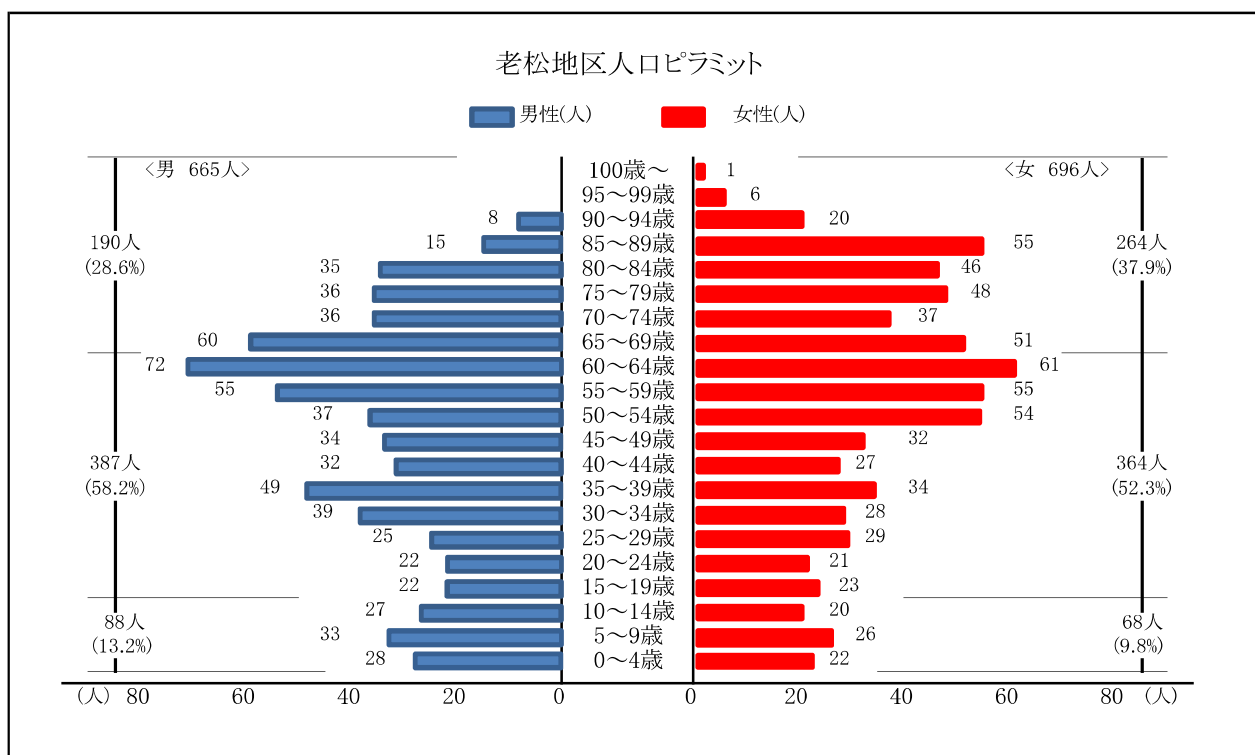
	0～ 19	20～ 39歳	40～ 59歳	60～ 79歳	80歳 ～	合計
老松1区	26	32	46	48	29	181
老松2区	43	51	54	69	26	243
老松3区	40	65	70	98	37	310
老松4区	53	65	89	105	45	357
老松5区	24	18	39	51	33	165
老松6区	15	16	28	30	16	105
合計	201	247	326	401	186	1,361



イ 男女別年代人口

基準日平成26年10月1日

	0～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100 歳～	計
男性	28	33	27	22	22	25	39	49	32	34	37	55	72	60	36	36	35	15	8	0	0	665
女性	22	26	20	23	21	29	28	34	27	32	54	55	61	51	37	48	46	55	20	6	1	696
合計	50	59	47	45	43	54	67	83	59	66	91	110	133	111	73	84	81	70	28	6	1	1,361



## 第2章 地域協働体



## 第2章 地域協働体

### 1 老松みどりの郷協議会

#### (1) 協議会設立までの経過

老松地区では、市民センター設置以前の老松公民館の成人事業において、平成24年度から集落公民館長や行政区長をはじめ各種団体の代表者による「YOIMACHIづくり講座」を開催し、延べ14回にわたり地域課題の掘り起し、課題の整理、対策等を検討してまいりました。

また、地域協働体の取り組みについての学習のため、県内外の協働体の視察研修を行い、老松地区の協働体設立に向けた取り組みを進めました。

平成26年5月に地域協働体の設立準備会を設置し、協働体設立に向けた準備を進め、6月29日に老松みどりの郷協議会を設立しました。

日時	開催場所	参集者	内 容
H24.6.7	老松公民館	集落公民館長、行政区長、各種団体代表者等	第1回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「地域課題の検討」
H24.7.17	老松公民館	集落公民館長、行政区長、各種団体代表者等	第2回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「地域課題の分類整理」
H24.9.15	老松公民館	集落公民館長、行政区長、各種団体代表者等	第3回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「地域課題の分類作業」
H24.10.26	奥州市胆沢区	集落公民館長、行政区長、各種団体代表者等	第4回YOIMACHIづくり講座 「視察研修:南都田地区センター」
H24.11.29	老松公民館	集落公民館長、行政区長、各種団体代表者等	第5回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「地域課題の振り分け作業」
H25.2.16	登米市中田町	集落公民館長、行政区長、各種団体代表者等	老松公民館合同研修 「視察研修:浅水ふれあいセンター」
H25.2.26	老松公民館	集落公民館長、行政区長、各種団体代表者等	第6回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「地域課題解決の検討」
H25.5.9	花泉支所	本庁協働推進課 支所地域振興課 市民活動センター	7地区合同チーム会議開催 【説明】地域協働の推進方法について 【情報共有・交換】チーム会議の目的、運営、役割分担等
H25.5.9	老松公民館	集落公民館長、行政区長、各種団体代表者等	第1回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「地域課題の解決策の検討」
H25.6.5	老松公民館	本庁協働推進課 支所地域振興課 市民活動センター	【情報共有】・地域情報・地域協働の進め方
H25.6.18	老松公民館	集落公民館長、行政区長、各種団体代表者等	第2回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「地域課題の解決策の検討」
H25.7.23	老松公民館	集落公民館長、行政区長、各種団体代表者等	第3回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「地域課題の解決策の検討」
H25.8.22	老松公民館	本庁協働推進課 支所地域振興課 市民活動センター	・各機関等からの報告 ・今後の進め方について
H25.10.24	登米市東和町	集落公民館長、行政区長、各種団体代表者等	第4回YOIMACHIづくり講座 「視察研修:米川地域振興会のまちづくり」

日時	開催場所	参集者	内 容
H25.12.10	老松公民館	集落公民館長、行政区長、 各種団体代表者等	第5回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「地域協働体の組織案づくり」
H25.12.25	老松公民館	本庁協働推進課 支所地域振興課 市民活動センター	第4回チーム会議 ・地域協働推進の取り組みについて(地域協働体の 設置について)
H26.2.15	栗原市一迫町	老松公民館運営委員、 集落公民館長	老松公民館運営委員、集落公民館長合同研修 「視察研修:一迫地区長崎コミュニティ推進協議会 のまちづくり(栗原市長崎公民館)」
H26.2.23	藤田集落公民館	藤田集落民	地域協働体について出前講座
H26.2.25	老松公民館	集落公民館長、行政区長、 各種団体代表者等	第6回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「地域協働体の組織案づくり」
H26.4.6	水沢集落公民館	水沢集落民	一関市地域協働推進計画説明会
H26.5.13	老松公民館	集落公民館長、行政区長、 各種団体代表者等	第1回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「老松地区地域協働体規約素案づくり」
H26.5.22	老松公民館	地域住民	一関市地域協働推進計画説明会
H26.5.22	老松公民館	集落公民館長、行政区長、 各種団体代表者等	第2回YOIMACHIづくり講座(ワークショップ) 「老松地区地域協働体規約素案づくり」 老松地区地域協働体設立準備会の設置
H26.5.29	老松公民館	地域を包括している6団体 長、事務局長	・6団体の現状と課題について ・老松地区地域協働体設立後の6団体の役割について
H26.6.13	老松公民館	集落公民館長、行政区長、 各種団体代表者等	老松地区地域協働体設立準備会 ・名称の選出、役員を選出、総会の付議事項について
H26.6.17	舘平集落公民館	舘平集落民	一関市地域協働推進計画説明会 ・老松地区地域協働体について
H26.6.29	老松公民館	集落公民館長、行政区長、 各種団体代表者等	老松地区地域協働体設立総会 ・名称の決定、規約の決定、役員承認



YOIMACHIづくり講座



視察研修「浅水ふれあいセンター」にて



(2) 協議会設立後の事業経過

日時	開催場所	参集者	内 容
H26.7.8	老松公民館	協議会理事	夏祭りの開催について
H26.7.20	藤田集落公民館	藤田集落民	一関市地域協働推進計画説明会
H26.7.24	老松公民館	祭りチーフスタッフ	チーフスタッフ会議 夏祭りの開催について
H26.8.7	老松公民館	祭りスタッフ	スタッフ会議 夏祭りの開催について
H26.8.10	老松公民館	地域住民	夏祭りの開催 300人
H26.9.16	老松公民館	理事・祭りスタッフ	理事・祭りスタッフ会議 夏祭りの反省
H26.10.16	老松公民館	協議会理事	理事会 地域づくり計画の説明
H26.11.18	老松公民館	協議会理事	理事会 専門部運営規定について
H26.12.19	老松公民館	協議会理事	理事会 専門部長の選任
H27.1.20	老松公民館	地域環境部員	第1回地域づくり計画の協議
		地域振興部員	
		体育振興部員	
H27.1.22	老松公民館	地域福祉部員	第1回地域づくり計画の協議
		地域安全部員	
		教育文化部員	
H27.2.14	北上市黒岩地区 交流センター	集落公民館長、行政区長、 各種団体代表者等	老松公民館合同研修 黒岩自治協議会の地域づくりについて
H27.2.17	老松公民館	地域環境部員	第2回地域づくり計画の協議
		地域振興部員	
		体育振興部員	
H27.2.19	老松公民館	地域福祉部員	第2回地域づくり計画の協議
		地域安全部員	
		教育文化部員	
H27.3.17	老松公民館	協議会理事	理事会 地域づくり計画について

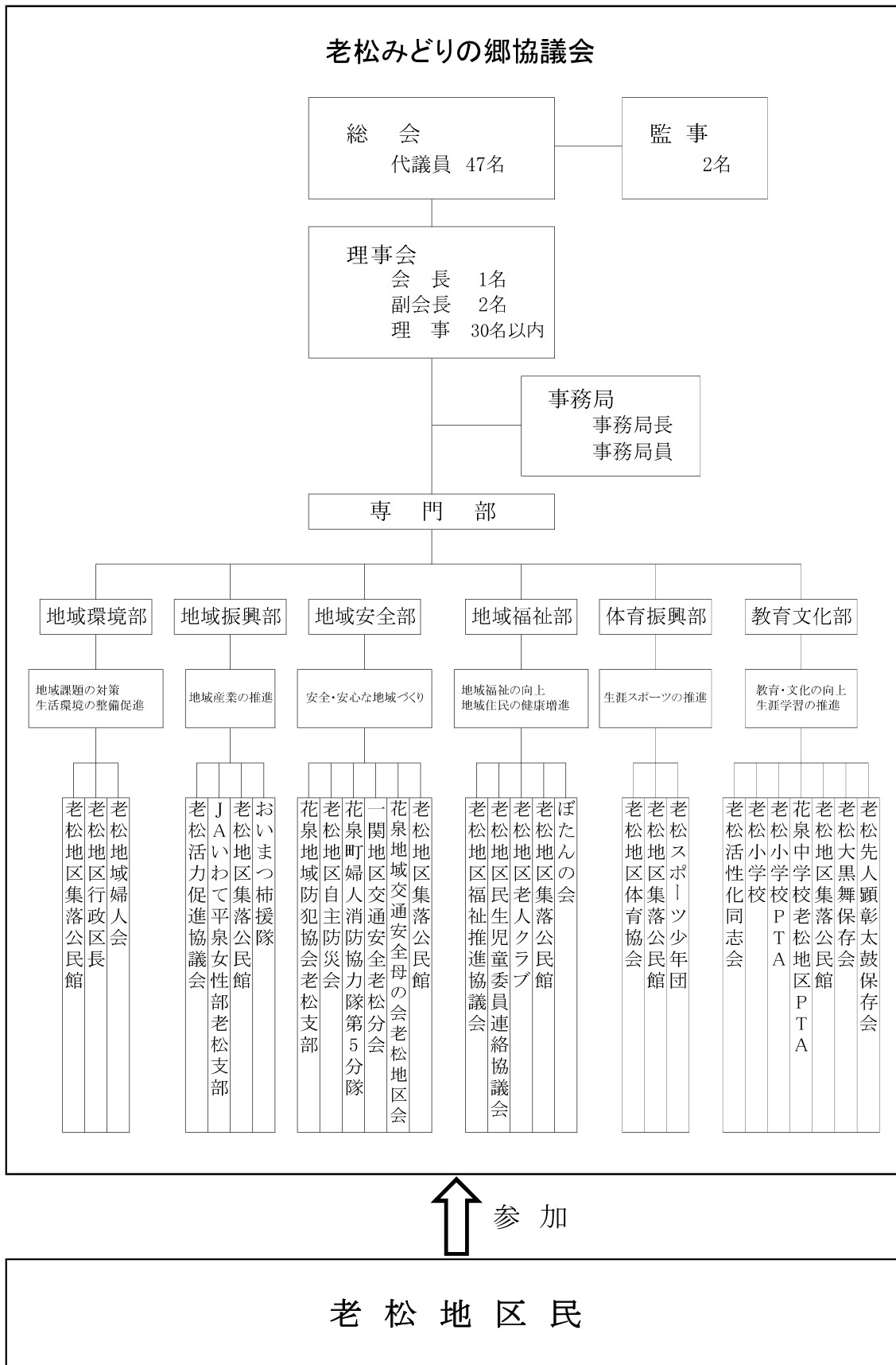


理事会「地域づくり計画」の策定



視察研修「黒岩自治協議会」にて

(3) 協議会の組織図



## 第3章 地域づくり計画



## 第3章 地域づくり計画

### 1 地域づくりの方針

#### (1) 地域づくりの目的

豊かな住みよい地域を目指す

#### (2) 地域づくりの目標

- ① 住民参加による快適な生活環境の地域づくり
- ② 資源を活かした魅力ある地域づくり
- ③ 住民と一体となった安全・安心な地域づくり
- ④ いつまでも健康で生きがいの持てる地域づくり
- ⑤ スポーツを通して人と交流する地域づくり
- ⑥ 歴史文化の継承と学び合う地域づくり

#### (3) 地域のスローガン

おもしろく おがすぐ さざほざど

### 2 地域の課題

#### (1) 生活環境

老松地区は、みどり豊かな農村地帯で、共同による道路河川清掃や集落花壇の整備を行うなど、地域の環境整備に努めてきているが、ごみの不法投棄やポイ捨て等がみられることや、ごみ集積所の利用マナーが守られていないこともあり、その対策が必要である。

また、地区内には未改良や未舗装の市道があり、安全・快適な通行に支障をきたしており、早急な市道の整備が望まれている。

今後、地区の人口減少や高齢化が進む中で、地域活動をどのように進めていくべきか課題である。



市道の草刈り作業



佐野原ふれあい花壇

## (2) 産業の振興



おいまつ柿

老松地区は、稲作を中心とした農村地帯であるが、米価の大幅な下落や園芸作物の価格が市場で低く抑えられ農業経営を圧迫している。

また、高齢化や後継者不足による農業離れが進んでおり、後継者の確保や地域の特色を活かし、安定した所得の向上を図るための方策が必要である。

## (3) 地域の安全

近年、地震や異常気象による自然災害が頻発しているが、老松地区では自主防災会を組織し、災害による被害の防止や軽減を図る取り組みを行っており、今後地域の高齢世帯の増加が予測されるなか、近所の助け合いについてもますます必要となってくる。



交通安全街頭指導

また、交通安全や防犯対策については、交通安全関係団体や防犯協会、見守り隊による街頭指導を実施しているが、交通マナーを守らないドライバーや、不審者の出没情報もあり、地域住民や通学児童が不安な思いをしていることから、歩道の設置やカーブミラー・防犯灯の安全施設の設置が必要である。

## (4) 福祉と健康



敬老会

老松地区においても、少子高齢化や人口減少が進んでおり、地区の3割を超える高齢者が安心して健康な暮らしができる地域づくりが求められている。

高齢者の知識や経験を活かし、地域の文化や伝統を地区民や子供たちに伝承していく交流の場の設定や、高齢者が元気で生きがいのある生活を送れるよう、老人クラブ事業への参加促進や、一人暮らしの高齢者世帯も増加していることから安心して生活できるよう、高齢者訪問等の取り組みの拡充が必要である。

また、生活環境や食生活の変化により、生活習慣病が増加してきており、地区民が健康で豊かな生活を送るよう、健康づくり活動の取り組みについても必要である。



いきいきサロン

#### (5) スポーツ交流



大運動会

各種スポーツ大会や、地区民大運動会等を開催しスポーツの振興と地区民の親睦に努めてきているが、地域の人口減少や高齢化により、体育事業への参加者の招集に集落役員が苦勞しており、チーム編成や開催方法の検討が課題である。

また、花泉町で開催している各種スポーツ大会への取り組みについても継続する必要がある。

#### (6) 文化と生涯学習

地域にある史跡・遺跡の保存や、地域のお祭り・行事を後世に継承し、歴史・文化の充実した地域づくりをする必要がある。

また、市民センター事業と合わせ、老松みどりの郷協議会で開催する地区のお祭りなどで、地域の活性化を図ることが必要である。

しかしながら、高齢者の増加や若者の地域参加の意識の低下により、集落行事や地区行事への参加が少ない状況であり、魅力ある事業の開催について検討が必要である。



夏祭り



女性生活学級

### 3 地域づくり計画

#### (1) 地域環境部

「住民参加による快適な生活環境の地域づくり」

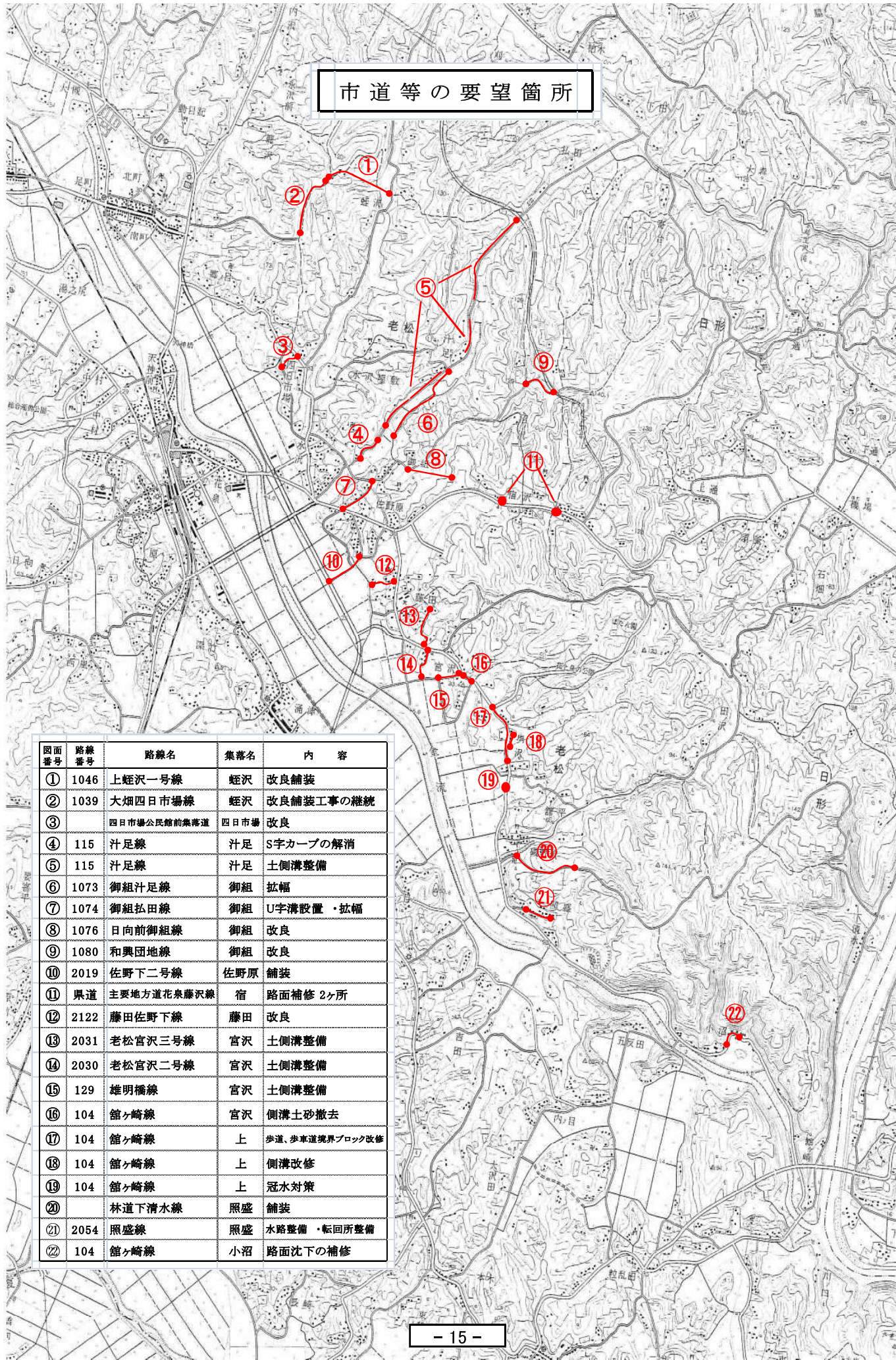
□地域で実施する事業  
■市・県等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
環境整備	老松のみどり豊かな景観を守り集落の環境保全のため、集落花壇の整備や道路河川の清掃・草刈作業を実施しているが、高齢世帯の増加や作業機械を持っている人も少なくなり、集落の共同作業に支障が出てきている。 この様な中で、市町村合併以降共同作業の回数が増えたことや、作業範囲が増えている集落もでてきている。	□花いっぱい運動の継続 □緑化樹の植樹と保護、保存 □道路河川一斉清掃・愛護作業の継続 □交付金事業等による周辺環境整備の共同作業の実施 ■市による金流川堤防の草刈の継続と拡充の要望
環境衛生	ごみ拾い等の清掃活動を実施して環境衛生に努めているが、ごみの不法投棄・ポイ捨てがあり、地域の環境・景観が損なわれている。	□ごみを捨てられない環境整備の実施 □モラルの向上の注意看板の設置 ■ごみの不法投棄箇所へ監視カメラの設置の要望 ■監視員によるパトロールの実施
	ごみの分別が徹底されていなかったり、地域外の人が集積所を利用し困っている。 また、ごみの量を削減するための取り組みを考える必要がある。	□ごみ分別、環境に関する勉強会の開催 □ごみ集積所に注意看板の設置 □スポ少、PTAや集落での資源ごみ回収の検討 □生ごみの堆肥化等によるゴミの減量化を推進 ■集積所シール等による地域外利用対策の検討を要望
	ごみ集積所の老朽化による破損等で、修理が必要となっている箇所がある。	□集積所の点検・修繕の実施
	老松地区の全地域が公共下水道処理区域外のため、家庭の下水処理が進んでいない状況である。 そのため、合併浄化槽の導入によるトイレの水洗化等により、地域の環境衛生を向上する必要がある。	□合併浄化槽の導入による、トイレの水洗化の啓発 □共同による消毒等の実施 ■浄化槽設置補助の増額要望
放射能対策	原発事故による放射能汚染により、生活の不安や山野草の出荷が制限されているので、早期解決が必要である。	■放射線量の危険個所の周知要望 ■危険個所の早期除染の実施要望
道路整備	地区内に、未改良や未舗装の市道があり、安全・快適な通行に支障をきたしている。 また、バイパスの開通により通行経路が変化しており、通行に対応した市道の早急な整備が必要となっている。	□道路の点検や改修要望箇所の調査の実施 ■市へ道路整備事業の要望(別紙箇所)
	安全、快適に通行するため、市道・県道等の路面補修や側溝の修繕、支障木の撤去等が必要な箇所がある。	□道路の点検や改修要望箇所の調査の実施 □地元による簡易な道路補修の実施 ■市(県)へ道路補修の要望(別紙箇所)
水害対策	水害の常襲地帯であった小沼集落は、昭和45年に金流川の改修工事を行っているが、近年の異常降雨の影響等もあり、たびたび水害の被害を受けている。	■小沼集落の北上川上流狭隘地区洪水対策の県要望 ■早期避難のため、水門に水位目盛りの取り付け要望



区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
集 落	<p>生活や時代の変化に伴い、独身者の増加や一人暮らしの高齢世帯が増加してきている。</p>	<input type="checkbox"/> 結婚の出会いの場、婚活支援の実施 <input type="checkbox"/> 同居の環境づくり <input type="checkbox"/> 若者の定着・少子化対策の方策検討
	<p>集落の人口減少や少子高齢化で、若者や、子供が少なく活気がなくなっている。            高齢化により集落の行事参加が難しいことや、若者の行政・集落への関与や共同意識の希薄により、行事・会合等の参加者が少なくなっており、将来の集落活動が危ぶまれている。</p>	<input type="checkbox"/> 地域住民の交流・親睦の場の設定 集落公民館まつり等 <input type="checkbox"/> 集落伝統行事の伝承 <input type="checkbox"/> 集落公民館の開放日の設定 <input type="checkbox"/> 各行事、事業に参加を奨励し、地域のつながりを育む <input type="checkbox"/> 中核組織育成による、集落の活性化 <input type="checkbox"/> 子供の行事の実施や子供が集まる施設
	<p>公民館の修繕・改築が必要となっている集落があるが、予算や建設場所の問題で進んでいない。            また、公民館の駐車スペースが不足して集落活動に支障をきたしている所がある。</p>	<input type="checkbox"/> 共同作業による、修繕・小改築の実施 <input type="checkbox"/> 交付金等を活用した、修繕工事の実施
	<p>集落の人口が減少しているなか、高齢世帯が増加し集落の役員のなり手がいない状況である。            さらに、組織数が多く戸数が少ない集落は、複数の役職を兼務しなければならず大きな負担となっている。            また、若い母親の組織がないため活動の場が少ないとの意見もあり、今後組織役員の在り方について検討する必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 役員の輪番制等の検討 <input type="checkbox"/> 他集落との統合の検討 <input type="checkbox"/> 組織の編成の検討 <input type="checkbox"/> 先進地事例の研究

## 市道等の要望箇所



図面番号	路線番号	路線名	集落名	内容
①	1046	上蛭沢一号線	蛭沢	改良舗装
②	1039	大畑四日市場線	蛭沢	改良舗装工事の継続
③		四日市場公民館前集落道	四日市場	改良
④	115	汁足線	汁足	S字カーブの解消
⑤	115	汁足線	汁足	土側溝整備
⑥	1073	御組汁足線	御組	拡幅
⑦	1074	御組払田線	御組	U字溝設置・拡幅
⑧	1076	日向前御組線	御組	改良
⑨	1080	和興団地線	御組	改良
⑩	2019	佐野下二号線	佐野原	舗装
⑪	県道	主要地方道花泉藤沢線	宿	路面補修 2ヶ所
⑫	2122	藤田佐野下線	藤田	改良
⑬	2031	老松官沢三号線	官沢	土側溝整備
⑭	2030	老松官沢二号線	官沢	土側溝整備
⑮	129	雄明橋線	官沢	土側溝整備
⑯	104	館ヶ崎線	官沢	側溝土砂撤去
⑰	104	館ヶ崎線	上	歩道、歩車道境界ブロック改修
⑱	104	館ヶ崎線	上	側溝改修
⑲	104	館ヶ崎線	上	冠水対策
⑳		林道下清水線	照盛	舗装
㉑	2054	照盛線	照盛	水路整備・転回所整備
㉒	104	館ヶ崎線	小沼	路面沈下の補修

(2) 地域振興部

「資源を活かした魅力ある地域づくり」

地域で実施する事業  
 市・県等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
雇用対策	働く場所がないので若者が地元に残らず、後継者がいても都会から戻ってこれず過疎化が進む要因となっている。	<input type="checkbox"/> 地元企業の見学会と懇談会 <input checked="" type="checkbox"/> 企業誘致の促進要望 (老松地内の工業団地の斡旋) <input checked="" type="checkbox"/> 地元企業への就職斡旋
後継者対策	気候や市場の状況により、安定した収入が得られないことや、仕事がきついことなどで担い手や後継者が減っており、農業従事者の高齢化が進んでいる。 また、独身の後継者も増えており、農家の継続や農地の荒廃が心配となっている。	<input type="checkbox"/> 担い手への集約や集落営農組織の設立の検討 営農組織の実態把握 <input type="checkbox"/> 共同作業(結)の実施の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 公社委託 <input checked="" type="checkbox"/> 婚活支援、出会いの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 新規就農者の開拓、農地斡旋
産業振興対策	老松地区は、ほとんどの農家が稲作を中心とした営農を営んでいるが、生産者米価の大幅下落により所得が低下している。 所得向上のため地域の特色を生かした園芸作物等の開発により、魅力ある農業を目指す必要がある。	<input type="checkbox"/> 地域の特産品(ブランド品)の開発 おいまつ柿の推進 特産野菜の生産の拡充 農産物の加工品の研究 ひょうたん等の工芸品の研究 <input type="checkbox"/> 先進地の視察研修の実施 <input type="checkbox"/> 休耕地や耕作放棄地の有効活用の検討 <input type="checkbox"/> 農産物販売所等の検討 <input checked="" type="checkbox"/> JAによる野菜作り指導
鳥獣対策	野生動物植物が増加し、家庭菜園や露地野菜の農作物の被害が増えており、収量の減収や収穫ができない状況で営農意欲が低下している。	<input type="checkbox"/> 農地周辺の草刈作業の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 有害鳥獣駆除の実施
産業施設整備	農作物の品質を守り安全に運搬するために、農道の整備が必要となっている。 また、降雨時の災害防止や農作業の利便性の向上のため、用排水路や農業用ため池の整備が必要である	<input type="checkbox"/> 受益者による、維持管理の実施 <input type="checkbox"/> 災害時の農業施設の見回りと市への災害報告 <input checked="" type="checkbox"/> 交付金事業等による、農業施設の整備

(3) 地域安全部

「住民と一体となった安全・安心な地域づくり」

□地域で実施する事業

■市・県等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
消防防災	地域に若者が少ないことや、仕事の都合もあり、消防団員に入団する若者がいない。	□消防団員入団の積極的勧誘
	老松地区自主防災会を組織し、消防団活動を支援するとともに、自主的な防災活動を行っているが、防火水槽等の消防施設がまだ不足している状況である。	□防災設備マップの作成 □自主防備品の定期点検の実施(自防) □救命講習会の実施 □火災予防全戸訪問(消防団・婦消) ■防火水槽の設置要望(別紙箇所)
交通安全	交通量が多くなったため、見通しの悪いカーブが危険になった。 また、歩行者の道路横断で見通しが悪い危険な箇所があり、横断歩道の設置等早急な安全対策が必要となっている。	□危険個所の調査の実施 □カーブミラー・ガードレールの清掃作業の実施 ■横断歩道の設置要望(別紙箇所) ■カーブミラーの設置要望
	交通安全関係団体で、日頃より交通安全指導に努めているが、交通マナーを守らないドライバーがみられ危険である。	□交通安全運動の実施(安協)(交母) のぼり旗の掲示 街頭指導 交通安全の啓発・情報紙の発行 交通安全看板の設置 交通安全教室の実施 □見守り隊による、児童、生徒の交通安全指導の実施 ■交通取り締まりの強化要請 ■速度規制の設定要請
防犯対策	児童・生徒の安全のため見守り隊による防犯対策を実施しているが、人通りのない箇所や、夜間の暗い箇所では通勤、通学時に不審者の出没による被害もでており、安心して生活できるさらなる対策が必要となっている。 また、見守り隊の取り組みが、集落によりまちまちであったり、高齢者が暑い中や寒い中での活動についても大変となってきたことから、見守り隊の取り組みについての見直しが必要となっている。	□地域安全運動(パトロール)の実施(防犯) □見守り隊による、防犯対策の実施 ■防犯灯の設置要望(別紙箇所)

防災関連施設等の要望箇所



消防防災				
図面番号	要望項目	設置箇所		集落名
①	防火水槽	佐野下地内		佐野原
②		日向前団地地内		佐野原
③	消火栓	照盛公民館脇		照盛
交通安全				
図面番号	要望項目	路線番号	路線名	集落名
④	カーブミラー	114	蛭沢線	蛭沢
⑤		114	蛭沢線	蛭沢
⑥		114	蛭沢線	蛭沢
⑦		114	蛭沢線	蛭沢
⑧		103	館ヶ崎一号線	水沢
⑨		117	田野沢線	館平
⑩		標識	114	蛭沢線
⑪	横断歩道	103	館ヶ崎一号線	水沢
防犯				
図面番号	要望項目	路線番号	路線名	集落名
⑫	防犯灯	県道	主要地方道花泉藤沢線	宿
⑬		2122	藤田佐野下線	藤田
⑭		104	館ヶ崎線	官沢
⑮		2153	花と泉の公園線	官沢
⑯		2050	館平線	上
⑰		117	田野沢線	館平

(4) 地域福祉部

「いつまでも健康で生きがいの持てる地域づくり」

□地域で実施する事業  
 ■市・県等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
交流事業	<p>高齢者の知識や経験を活かし、地域の文化や、伝統行事を伝承するため高齢者と子供たちの交流事業を行ってきている。</p> <p>また、高齢者が元気で生きがいのある生活を送るため、地区民との交流の場も継続する必要がある。</p>	<p>□にこにこ交流会(老小)                  □小学校農業体験(老小)                  □集落公民館での子供との交流事業の実施                  □市民センターとの交流事業の共同開催                  □さざほざサロンの開催(福祉)                  □老人クラブ会員研修会への参加(老ク)                  □敬老会の開催(福祉)                  □おらほの名人の活用                  □体育・交流事業による健康増進(老ク)                      ゲートボール                      シニアスポーツ大会                      グランドゴルフ</p>
高齢福祉	<p>少子高齢化で若者が少なく、高齢世帯や一人暮らしの世帯が増加している。</p> <p>また、高齢者の介護をするため家を空けられず生活に不便をきたしていることや、収入の少ない一人暮らしや、高齢世帯では生活が大変であるため、将来の生活に不安をいただいている。</p>	<p>□いきいきサロン合同交流会の開催(福祉)                  □ふれあい給食(福祉)                  □さざほざサロン支援(福祉)                  ■在宅介護手当の増額                  ■宅老所のような施設の整備                  ■市営バスの活用</p>
健康づくり	<p>高齢者が元気で健康な生活を送れるよう健康相談や日頃の健康づくりに努めていく必要がある。</p> <p>また、生活環境や食生活の変化により生活習慣病も増えてきていることから、健康診断の受診等の呼びかけを行い、受診率の向上に努めていく必要がある。</p>	<p>□健康づくり教室の開催                  □病気予防講習や健康相談                  □保健推進員との連携                  □健康診断受診への啓発                  ■人間ドック受診者への補助の増額要望</p>

(5) 体育振興部

「スポーツを通して人と交流する地域づくり」

□地域で実施する事業

■市・県等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
集落事業	<p>集落によって、スポーツ行事等の参加経費や、運動会用品等の更新時期となっており、集落予算が不足している。</p> <p>また、高齢世帯の増加により参加戸数の減少があるため、チーム編成の再考を求められている。</p>	<p>□チーム編成の検討</p> <p>□各集落での会費の検討</p>
地区事業	<p>体育スポーツの振興と地区民や他団体との交流や健康増進のため、スポーツの場を設けたり各種大会に選手を派遣しており、市民体育大会には、全種目の出場を目標に取り組み成果を上げている。</p> <p>また、ニュースポーツを普及していくための用具を整備する必要がある。</p>	<p>□各種スポーツ大会の開催 グランドゴルフ大会(共催) 夏・冬季球技大会(共催) 地区民大運動会(共催)</p> <p>□市民大会の参加 花泉マラソンの運営支援 町内一周駅伝への参加と運営支援 市民体育大会への参加</p> <p>□スポーツ用品の充実</p>
	<p>近年の少子高齢化により運動会やスポーツ大会の参加者が減少しており、人員確保に苦労している。</p> <p>また、競技種目のマンネリ化防止や少子高齢化に対応したスポーツ大会の開催について検討する必要がある。</p>	<p>□地区民運動会の検討 競技内容、競技時間 チーム数の編成等</p> <p>□スポーツ大会の検討 競技種目(レク的なもの) 年代に応じた競技や、異世代交流の競技</p>

(6) 教育文化部

「歴史文化の継承と学び合う地域づくり」

地域で実施する事業

市・県等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
集落事業	<p>集落においては、予算の不足により十分な活動が出来ないことや、人口の減少や高齢化により事業への参加が思わしくない状況で、参加者の招集に集落役員が苦労している。 また、少子化となってきたこともあり、集落の子供行事が少なくなってきた。</p>	<p><input type="checkbox"/> 集落のお祭りや交流事業の継続 <input type="checkbox"/> 子供行事の充実と、高齢者との交流事業の実施</p>
	<p>集落のお宝調査や、生活の中に受け継がれてきた年中行事「おらほのしきたり」の編集を行ってきているが、今後も先人が築き継承してきた史跡・遺跡の保存や集落のお祭り行事を後世に継承し、歴史・文化の充実した地域づくりをする必要がある。</p>	<p><input type="checkbox"/> 集落史跡・遺跡の環境整備の実施と継承 <input type="checkbox"/> 集落史跡の研究</p>
地区事業	<p>地区の人口減少や少子高齢化により、地区事業への参加が減少してきており、役員が参加者の招集に苦労しているため、集落の編成や事業内容の精査が求められている。 また、事業運営の役割も多くなってきており、役員の負担となっている。</p>	<p><input type="checkbox"/> 効率よい会議の開催 回数減らす工夫 合同会議(参加者が重複する場合) <input type="checkbox"/> 輪番制による役員の事業運営の検討 <input type="checkbox"/> 集落規模に応じたチーム編成の検討 <input type="checkbox"/> 少子化・高齢化に対応した事業の検討 <input type="checkbox"/> 魅力ある事業の展開 マンネリ化しない 反省を生かす 他団体との交流 (参加対象者、地域の拡大)</p>
	<p>老松地区の文化の特性を生かし、地域の先人顕彰事業の千葉胤秀顕彰花泉珠算競技大会やおらほのしきたり保存事業を行ってきているが、今後も地域文化の継承や世代間交流に努めていく必要がある。</p>	<p><input type="checkbox"/> 地域特性を生かした事業 地域の先人顕彰事業 地域の文化・伝統の保存、伝承事業</p>
	<p>老松地区の人口減少や少子高齢化により、地域の活力が低下してきている。そのため、地区行事やお祭りをとおして、地域の活性化と地域住民の交流に努めていく必要がある。</p>	<p><input type="checkbox"/> 地域の行事・お祭りの開催 花泉夏祭り(餅つき大会)への参加 老松地区夏祭り(共催) 文化祭・芸能祭(実行) 元旦歩け歩け大会(実行) 新年交賀会(実行)</p>



#### 4 集落の課題と地域の事業計画

##### 蛭沢集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画
地域環境	生活環境	ゴミ貯留所の整備	済	ごみ集積所に地域外の人が置くので困る	地域外のゴミ置き対策
		集会所花壇造成	済	高齢世帯や後継者がいないので道路河川愛護作業の撤廃	
	土木環境	蛭沢-刈生沢線の整備(町)	済		市道改良整備の促進 (1046)上蛭沢一号線
		四日市場から蛭沢線改修 500m(町)	計画有		
	地域づくり	虚礼廃止の推進申し合わせの作成	済		
産業振興	就労				
	産業	集落野菜の設定	未		
産業施設	蛭沢共同ため池の改修(3カ所)	済			
地域安全	消防防災				
	交通安全			交通量が多くなったので、カーブミラーの設置を(四日市場と蛭沢の境、熊谷寛一さん宅付近、熊谷末子さん入口)	交通安全の環境整備 ・カーブミラーの設置((114)蛭沢線4ヶ所)
				道路整備により、交通量の増加、スピードを出す車の増加で危険	交通量の増加、スピードを出す車があるので、看板(標識)等の設置
	防犯	防犯灯の設置 3ヶ所(町) 舗装切れ・公民館前・大堤	済		
地域福祉	福祉				
	健康				
体育振興	スポーツ振興	卓球場、卓球台の設置	未	地区民運動会を小学校と合同で行ってはどうか	
教育文化	文化・生涯学習				

四日市場集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画
地域環境	生活環境	集落内定例清掃の実施	実施中		
		子どもの遊び場整備	未		
	土木環境	集落内連絡道路の整備	実施中	地区内の道路や看板の補修が必要	公民館前の連絡道路の改良整備
		蛭沢川改修工事の早期完成(町)	済		
		集落内の側溝整備 350m	実施中		
		町道郷ノ目線(四日市場～金流川左岸堤防)舗装 1000m(町)	未		
		四日市場～大畑線舗装 1500m(町)	実施中		
	地域づくり	虚礼廃止、冠婚葬祭の簡素化申し合わせの作成	未		
		古衣品の有効利用の推進			
	地域振興	就労			
産業		集落野菜の設定	未	野生動物の被害が増加している。動物の種類も増えた	
		集落内転作互助制度の設定	実施中		
		農用地利用改善規定の設定			
		山林資源の高度活用	未		
		山菜の共同開発	未		
		自家食品加工利用の推進			
産業施設		寺田地区内ため池改修 1ヶ所	実施中		
	東部土地改良区内暗渠排水事業 25ha(改良区)				
	東部土地改良区内農道の敷砂利(改良区)				
地域安全	消防防災	防火用水設置 1ヶ所(町)	済		
	交通安全	カーブミラー設置(町)	済	交通の流れが変わり、一時停止をしない他地区の車が増えて危険 地区内の道路や看板の補修が必要	交通安全の環境整備 ・停止線の変更を要望((114)蛭沢線)
		防犯	防犯灯設置 2ヶ所(町)	済	
	地域福祉	福祉			後継者のいない高齢者世帯や一人暮らし世帯が増加
健康		集落内健康診断の実施			
体育振興	スポーツ振興	ゲートボール場設定	未	集落公民館費が足りないが、会費を上げられない	
		集落レクリエーション大会の実施	未		
教育文化	文化・生涯学習	献本運動と集落内図書館の設置	未		
		集落文化祭の開催	実施中		春と秋の祭りの継続

水沢集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画	
地域環境	生活環境	ごみ貯留所の整備	済	ごみ集積所に地域外の人が置く。指定以外の袋を使う	ゴミ集積所使用ルールの徹底 ・ゴミ分別の徹底・地域集積所シールによるゴミ地域表示	
		消毒等の共同実施	実施中	草刈機械を持っている人が少なくなり、道路河川作業が出来なくなっている	道路・河川愛護の推進 ・人、時間の見直し	
		花いっぱい運動の推進	実施中	市道の割り当てが増え、道路掃除の時間が長くなった	花いっぱい運動の推進	
		子供の遊び場造成		原発事故による放射能汚染の早期解決	放射能汚染対策 ・空間、食品からの放射能吸収防止と対策	
	土木環境	農道敷砂利整備				
		用排水対策(御嶽山入口町道付近)				
		水沢川の改良(町)				
		町道水沢線拡幅整備(町)				
	地域づくり	虚礼廃止の推進			振興住宅地のひとの行事参加が良くない	地域住民の交流促進(老若男女) ・月一回の公民館解放とイベント
		食生活改善活動の推進			若いお母さんたちのグループがあってもよい	集落公民館まつりの実施 ・地域振興と親睦
		古廃物再生利用の推進			出入りの時間自由、ふらっと立ち寄っても良い関係づくり	
		不用品等交換会運動の推進				
	地域振興	就労				地域住民の流出防止 ・地元企業への就職斡旋(学校) ・企業の誘致促進(市)
		産業	振興作物集落野菜の設定			
			農用地利用改善及び高度利用の推進			
			農林副産物等の有効利用			
産業施設	振興野菜の出荷効率化					
地域安全	消防防災	防火水槽設置 1ヶ所(町) 御嶽山前	済			
	交通安全	カーブミラー設置 1ヶ所(町) 精氏後下りカーブ		横断歩道の白線が消えている(小学校前、佐野原)	交通安全の環境整備 ・横断歩道の設置(①(103)館ヶ崎一号線)	
				交通量が多く危険なので横断歩道の設置(中村大工とヤクルト販売所・今野氏宅)	・カーブミラーの設置(②(103)館ヶ崎一号線) ・カーブミラーの設置(③(1072)老松峰線)	
				カーブミラー設置(今野氏宅)		
				バイパス交差点に信号機設置(老松橋・バイパス)		
			横断歩道はあるが、道幅が広く危険なので信号機の設置(合流点・バイパス)			
地域福祉	防犯	防犯灯の設置 3ヶ所(町) 汁足線入口・大祥寺前・峰線入	済			
	福祉			昔の遊びを子ども達に伝えたい(竹スキーなど) 子どもとお年寄りの交流する機会が少ない 高齢者の世話をしなければならないので、家を空けられない		
健康	健康				健康管理の促進	
体育振興	スポーツ振興	集落の日、設定月例交換会の開催 ラジオ体操、健康体操等の普及 スポーツ大会、レクリエーション大会等の開催				
教育文化	文化・生涯学習	集落芸能(歌踊)等講習会		集落公民館に子どもを対象とした行事が少ない	地区史跡・遺跡の保存と研究	
		集落文化祭開催		他団体との交流の機会を設ける。参加対象者の限定の範囲を広げみる		
		読書活動展開		小学校の統合を早くしてほしい		
		集落図書館設置運営及び献本運動		小学校の遊具を充実してほしい		

汁足集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画	
地域環境	生活環境	集会所建設(用地取得15坪)(集落・町)	済		ごみ不法投棄・ポイ捨て対策(看板)・刈払い	
		子供遊び場施設			少子高齢化で幼児から高校生までいないので、遊び場の必要がなくなった。	
	土木環境	町道御組-汁足線整備(町)	一部済		道路土側溝の整備(115)汁足線	
		町道峰線促進(町)	済		S字カーブの解消整備(115)汁足線	
	地域づくり					
地域振興	就労					
	産業				休耕田を活用した景観作物の植栽(種子確保の資金援助)	
	産業施設	水田圃場整備 7ha(改良区)	未 全体エリアは 国難			
		用排水路整備(汁足川関係)(改良区)	一部済			
		汁足堤余水路等改良(町・改良区)	一部済			
ため池(川子目)用水路及び尺八ドウ施設改良(改良区)		済				
	水沢-刈生沢清水林道の促進(町)	済				
地域安全	消防防災	ガードレール設置(川子目カーブ)(町)	済			
	交通安全	汁足線待避所設置	済			
		カーブミラー(川子目次男宅)(町)				
		案内板(刈生沢滝入口)位置変更	未			
防犯	防犯灯増設(川子目)(町)	済		ひとり・高齢者世帯の見守り・声かけ		
地域福祉	福祉					
	健康					
体育振興	スポーツ振興					
教育文化	文化・生涯学習	集落文化遺産(堅牢地神社)の保護	実施中		環境整備の継続・桜苗木の植栽、刈り払い	

御組集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画
地域環境	生活環境	燃えないゴミ収集場所の増設(集落・町) 御組公民館前	済	高齢世帯が多く共同作業ができなくなっている	
	土木環境	町道汁足線の拡幅改修(町)	未		市道の拡幅改修(1073)御組汁足線
		宿へ御組に通ずる旧道の整備改修(町)	未		市道の拡幅改修U字溝設置(1074)御組払田線
					市道の整備改修(1076)日向前御組線
	地域づくり	冠婚葬祭の簡素化運動	未	集落役員のなり手がいない。組織・事業が多い	冠婚葬祭の簡素化(具体的取組)
				子どもが少なく、今後集落の動向を考えるべき	サタデー会(月1回)の開催
				集落の共同意識が薄れてきている。高齢化	20日会(月1回)の開催
				年齢のギャップ、先輩者が若者に押し付けが多い	山の神(年2回)の開催
					昼食会(年1回)の開催
				集落祭(御組・佐野原)の開催	
				飲み会議(御組・汁足)の開催	
地域振興	就労				
	産業				
	産業施設	刈子の目溜池改修汁足地内用水路改修整備	未		①刈子の目堤地内水路改修整備
		下汁足地内の水田区画整備 2.7ha	済		
		農道佐野原公民館の前と後の拡幅整備(集落・町)	済		
		鉄砲小屋～金流川まで用水路の整備	済		
	農道大祥寺路線の改修整備(町)	済			
地域安全	消防防災	防火水槽の蓋設置	済		防災機具の設置助成
	交通安全	ガードレールの設置(町) 刈子の目	済		
		カーブミラーの設置 3ヶ所 刈子の目	済		
防犯					
地域福祉	福祉				在宅介護手当の増額
	健康	健康管理活動に対する大幅予算化(町)			さざほざサロンの毎月計画の実施
体育振興	スポーツ振興	1日人間ドック受診者への助成等(町)			人間ドックの受診者への増額
		バレー・テニスコート造成(集落・町)		運動会へ一考、小学校と	運動会について(運動会は昼食も楽しみでは)
教育文化	文化・生涯学習				スポーツ大会について(若者、成人、老人別々のスポーツもあるのでは)
		地区中央公民館建設(町)		芸能まつりへ一考、小学校と	子供会への助成
				会議を分ける。体協は体協、公民館は公民館	事業運営について(集落公民館長の役割分担が多いのでは)
				地区公民館は必要か	
			問題点を出しても答えがない		
			毎年同じ事柄をあげても解決策がだされない		

佐野原集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画
地域環境	生活環境	ゴミ貯留所3ヶ所金網張り	済		
		清掃の日設定			
		花いっぱい運動の展開	実施中		
		公民館の増改修	済		
	土木環境	生活道大洋寺前～老松支所 800m(集落・町)	済		市道の舗装整備 (2019)佐野下二号線の花泉バイパスまで
		生活道老松支所前～堤根 350m	済		
		汚水処理施設(14戸対象)			
	地域づくり	古廃物の交換活用及び処分			
	地域振興	就労			
産業					
産業施設		農道公民館前～下田中線 300m	済		
		農道堤根～佐野原線(集落・町) 200m	未		
		水路中堤～大堤線 600m	済		
		農道中堤～大堤線 600m	済		
		農道大堤～下田中線 300m(町)	済		
		農道公民館後～下田中線 300m(町)			
	水田基盤整備 12.5ha(改良区)	済			
	大堤上土手改修 200m(改良区)	済			
大堤溜池改修 1km(改良区)	済				
地域安全	消防防災	防火用水(公民館前)57.8月完成(町)	済		防火水槽設置 2ヶ所 (日向前団地・佐野下地内)
	交通安全	ガードレールの設置(町) 大堤の上まで	済		
		カーブミラー設置 2ヶ所(町) 農協支所前	済		
防犯	防犯灯 3ヶ所(町)	済			
地域福祉	福祉				
	健康				
体育振興	スポーツ振興				
教育文化	文化・生涯学習	集落祭(文化祭)の開催			
		集落図書館の設置			

宿 集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画	
地域環境	生活環境	下水及び汚水処理施設の設置整備並びに定期清掃の推進		老人世帯になり道路河川作業ができない世帯が多くなった	道路河川作業について(合併後道路清掃作業が増えた)	
		花いっぱい運動の推進	実施中			
		省エネ活動展開				
		集落公民館に町水道施設(町)	済	集落公民館に駐車場がない		
	土木環境					主要地方道花泉藤沢線の路面補修(2ヶ所)
地域づくり	不用品等交換運動展開			少子高齢化時代となり、集落構成が困難		
	冠婚葬祭の簡素化運動					
地域振興	就労					
	産業	転作の団地化と互助の確立(集落・町)		後継者がいない		
		共同作業				
		共同利用の確立				
		自家食品加工利用の推進				
	産業施設					
地域安全	消防防災	防火水槽設置 1ヶ所(町) 佐々木慶治氏宅周辺	済	防災情報システムの音が届かない(済)		
	交通安全	集落内事故防止				
	防犯	防犯灯設置 2ヶ所(町) 千葉惣吉氏前・防火水槽前	済		防犯灯の設置(1ヶ所) 主要地方道花泉藤沢線	
青少年等非行化防止 犯罪防止						
地域福祉	福祉					
	健康					
体育振興	スポーツ振興	ラジオ体操		スポーツ行事等費用が不足		
		集落スポーツ大会				
		ゲートボール場設定				
教育文化	文化・生涯学習	集落芸能(唄・踊)等設定				

藤田集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画	
地域環境	生活環境	ごみ貯留所の整備	済	道路への吸い殻のポイ捨てが多い	ゴミ貯留所の移動建替え後、ポイ捨てがない喫煙家の減少により、吸い殻のポイ捨てがなくなりつつある	
		公民館水道設備		高齢者が増え奉仕作業等で出席者が少なく大変		
	土木環境	集落生活道拡幅整備(集落・町) 一路線478m・三路線120m・二路線564m				(2122)藤田佐野下線の一部未整備区間の改良
		集落排水路の整備				
		路線拡幅整備併設(水路)				
		町道の編入				
	地域づくり	藤田川一部石垣の修理(町)				
		虚礼廃止の推進			集落内の会合等出席者が少なくなっている	
					回覧板は早めに回してほしい	
	地域振興	就労			仕事が少ない	
産業					基盤整備後の農業が楽になった。農政が変わっても自体の継続は可能である。	
産業施設		長堤堤体改修	済			
	藤田集落より田野沢ごみ処理場までの林道整備(町)	済				
地域安全	消防防災	防火水槽設置(2ヶ所)(町)	済			
	交通安全	カーブミラーの設置 2ヶ所(町) 佐藤岸雄氏宅前・加藤栄一氏宅前		通学時間帯に乱暴な運転を見かける	佐藤庄一氏所有の道路側水田水利の池に危険表示掲示	
		ガードレール設置 2ヶ所(町) 長堤上土手・館ヶ崎学校より200m		佐野原丁字路の一時停止の厳守を		
	防犯	防犯灯設置 2ヶ所(町) 佐藤力男氏宅牛舎附近・星名宅前			防犯灯設置(1ヶ所) (2122)藤田佐野下線	
地域福祉	福祉			年金が少額で楽しみもなく暮らしが大変		
				集落内で若者や子どもが少ない		
	健康				市の健康診断の受診者が少ない	
体育振興	スポーツ振興				運動会の「鉢巻、ブルーシート、集落旗」の更新	
教育文化	文化・生涯学習	公民館有放料無料化		老松公民館の事業・会議が増えて大変	公民館行事をあまり増やさずに精査を	
					夏祭りは、若者が多く来館して良かった	
					芸能祭は年寄りの参加だけである	



宮沢集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画	
地域環境	生活環境	ごみ貯留所の整備	済			
		集会所花壇造成	実施中			
		集会所増築 10㎡	済			
		子どもの遊び場整備	済			
	土木環境	集落内生活道の整備(集落・町)				業者による金流川堤防の草刈の継続
		町道雄明橋線道路側溝の整備(町)				道路側溝の整備 ①(2031)老松宮沢三号線 ②(2030)老松宮沢二号線 ③(129)雄明橋線
		旧町道館ヶ崎線現道舗装(町)				側溝土砂撤去 ④(104)館ヶ崎線
	地域づくり	虚礼廃止推進申し合せ				
					老人世帯になり各種会議等への参加が少ない	
	地域振興	就労				
産業		集落野菜の設定			後継者がいない	
		農用地利用規程の設定				
		自家食品加工利用の推進				
産業施設		下宮沢地区暗渠排水 2ha	済			
		上宮沢地区用排水路整備 300m				
		溜池改修				五本松堤の泥揚げの実施
		五本松農道の整備	済			
	境川の改修整備	実施中			境川改修の継続(農地水環境保全事業)	
地域安全	消防防災					
	交通安全	カーブミラーの設置 1ヶ所(町) 館ヶ崎線と雄名橋線の交点	済			
	防犯	防犯灯の設置 2ヶ所(町)	済		防犯灯の設置(2ヶ所) (104)館ヶ崎線 (2153)花と泉の公園線 子供たちへの見守り隊	
地域福祉	福祉			少子高齢化		
	健康					
体育振興	スポーツ振興	ゲートボール場設定				
教育文化	文化・生涯学習	集落文化祭の開催				

上 集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画
地域環境	生活環境	難聴解消テレビ塔の設置(町)		独居老人が増えて、共同作業等に支障が出てくる	ごみ集積所屋根改修
		子ども遊び場施設		地デジ岩手局が入りにくい	
		集会所の改修			
	土木環境	集落道改良 200m			市道の歩道及び歩車道境界ブロック改修(104)箇ヶ崎線
		町道館平線改良舗装			市道の冠水箇所改修(104)箇ヶ崎線
	地域づくり	虚礼廃止の推進と申し合わせ実施			市道の側溝改良(104)箇ヶ崎線
				集落役員不足を解消するため集落の再編成(行政区集落)	
			少子高齢化のため、公民館行事への参加が大変	限界集落から消滅集落に近づいているその対策を(集落の共同作業も限界)	
地域振興	就労			後継者が都会にいるため、集落役員が不足する	
	産業	野菜振興対策(雨よけ栽培)の推進		農業担い手、若者がいない	農業担い手の育成
		畜産振興対策			野生動物の被害対策
		共同貯蔵施設、乾燥施設の設置			
		自家食品の加工利用の推進			
	産業施設	溜池改修(防之沢、寺沢、新田)			荒廃地改良(維持管理)2ヶ所
		未整理の圃場整備			農道、用排水路整備改修
		通作道路の整備 400m			
農道、用排水路整備改修(改良区)					
地域安全	消防防災	防火水槽設置(町)		消防団に入団する若者がいない	消防団員の確保
				防災情報システムの音が聞こえにくい	
	交通安全	カーブミラーの設置 5ヶ所(町)			
	防犯	防犯灯の設置 3ヶ所(町)			防犯灯の設置(1ヶ所)(2050)館平線 見守り隊(ボランティア募集)による地区内見守りの再検討
地域福祉	福祉				独居老人、空き家対策(防犯も)
	健康				放射線量の定期的測定
体育振興	スポーツ振興	体育祭の参加		運動会は男沢で1チームにしてほしい	少子高齢化に対応した行事設定
教育文化	文化・生涯学習	集落文化の振興		芸能祭は館平と一緒に2種目にしてほしい	少子高齢化に対応した行事設定
		民謡、謡曲、芸能等の講習			

館平集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画	
地域環境	生活環境	遊園地等の花壇造成 2ヶ所	実施中		花壇の継続(住民の交流・六角堂参拝)	
		畜産公害環境整備				
		集会所の整備			集会所の整備は、場所・予算他検討事項あり 修繕・清掃など集落で維持していく	
	土木環境	町道田ノ沢線改良舗装 2000m(町)				
		町道館平線改良舗装 1000m(町)				
	地域づくり	虚礼廃止の推進及び申し合わせ作成		5年、10年後が心配	高齢化や一人暮らしの増加による集落の存続が心配	
地域振興	就労	後継者作りの推進			若者の就職、定住問題	
	産業	畜産振興(和牛、乳牛、養豚)			野生動物の駆除に対する補助要望	
		キノコ栽培の振興				
		畜産振興による施設整備の確立(サイロッコの補助)				
		家庭菜園の普及				
	産業施設	幹線排水路の整備 700m				
		圃場整備(田ノ沢、坊ノ沢)				
		用排水路整備(田ノ沢、坊ノ沢)				
		農道整備(館坂線250m、田ノ沢線2000m)				
	溜池補修(磯ノ沢下堤、松ノ沢上堤)					
地域安全	消防防災			消防団に入団する若者がいない	消防団への入団協力をお願いする(男女問わず)	
	交通安全	カーブミラーの設置 3ヶ所(町) 庄太郎氏の下、富雄氏の脇、田ノ沢砂防ダムの上 ガードレールの設置 1ヶ所(町) 田ノ沢線 100m			交通安全の環境整備 ・カーブミラーの設置((117)田野沢線 1ヶ所)	
	防犯				防犯灯の設置(1ヶ所) (117)田野沢線 見守り隊の継続	
地域福祉	福祉			少子高齢化で老人世帯が多くなった	老人世帯への見守り・声かけの継続 災害避難時に老人世帯の配慮	
	健康					
体育振興	スポーツ振興	総合地区運動公園(三角点附近)			スペシャリストばかりの競技だけでなく、レク的なものがほしい	
教育文化	文化・生涯学習	集落文化の振興(文化祭開催、謡曲、民謡、芸能等)			女性学級いらぬかな 他の部門でも組織・役員多い 実態に合うように	

照盛集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画
地域環境	生活環境	テレビ岩手放送受信できる様	済	老人世帯になり道路河川作業のできない世帯が多くなっている	野生動植物(タヌキ、ハクビシン、せいとかあわだち草)の駆除
		岩手県関係テレビ受信	済		
		大尻橋下付近子どもの遊び場			
	土木環境	館ヶ崎線の舗装延長(町)	済		水路布設・転回所の整備(2054)照盛線
		照盛線の延長(町)	継続		
		町道館ヶ崎線のホコリ清掃(集落・町)	実施中		
	地域づくり	金流川進入路(改良区)		少子高齢化時代となり、集落構成が困難になっている	
		冠婚葬祭の簡素化		後継者がいない	
				集落のまとまりがなくなっているような気がする	
				集落行事などへの参加が少なくなってきた	
地域振興	就労				
	産業				集落内での農地の維持作業と共同参加(集落営農推進の継続)
	産業施設	農道(支道8号線～17号線)敷砂利整備	済		水路、舗装の整備 林道下清水線
		揚排水路の舗装化	済		
		集落道路の設置 千葉茂胤氏宅前～及川弘氏宅前	済		
		溜池改修 磯の沢下堤・松ヶ沢上堤	済		
		六角堂沖排水口の拡大(改良区)	済		
		林道磯の沢、照盛境界線道路の拡大整備(町)	済		
照盛線のU字溝の施設清掃(町)		済			
田野沢川の金流川への出口、本堤に橋の設置(県)	済				
地域安全	消防防災	消火栓 2ヶ所位(町)	済		緊急車両が入れない道路の対策
		防火水槽設置(町)	済		圃場整備の調整池を利用し公民館脇に消火栓の設置要望
	交通安全	行き止まりの標識	済		館ヶ崎線の速度規制を要望
		集落道路上り口の滑り止め(町)	済		
		照盛線入口カーブミラー(町)			
	防犯	速度制限(警察)	未		
		防犯灯の設置(町)	済		
地域福祉	福祉				
	健康				
体育振興	スポーツ振興				
教育文化	文化・生涯学習				

小沼集落

部門	区分	S57 集落振興計画	集落振興計画達成状況	H24YOIMACHIづくり	H26地域づくり計画
地域環境	生活環境	燃えないゴミため場の整備	済	ゴミの不法投棄が後を絶たない、監視カメラの設置を	
		公民館花壇造成	済	自然界の異常が目につくので放射線量の分布を詳しく調査してほしい	
		小沼公民館の改築	済	地デジ岩手局が映らない(済)	
		子どもの遊び場造成		停電が多く機械が壊れる。電力会社へ対策がなされているか申し入れしてほしい	
	土木環境	町道館ヶ崎線の早期完成(町)	済	道路に穴ぼこがある(済)	道路が沈んでいるところがある
				小沼橋から舞石興産の間の道路に枝が張り出しているため危険である枝の伐採を(済)	集落による市道の清掃
					市による側溝の清掃
	地域づくり	虚礼廃止の推進	済	少子高齢化が進行し、数年後が心配	
				戸数が少ないのに、会議や役職が多く暇だれしている	
				合併後の一関市が大きすぎて「老松」の存在が伝わらない。行政への関与の仕方が希薄化している	
地域振興	就労			後継者がいても働く場所がないのでUターンできない。企業誘致を	
	産業	転作の団地化(集落・町)	済		
	産業施設	飯ノ沢川の掘削改修 500m	済		
		中江排水堀の整備 300m	一部済		中江排水堀の整備
		小沼橋より放森線の舗装(町)	済		
地域安全	消防防災	防犯灯の設置 5ヶ所(町)	済	防災情報システムやコミュニティFMが聞こえないので中継局設置を(済)	
				水害が多いので、堤防を高くしてほしい	北上川上流狭隘地区洪水対策(県要望) ・家屋移転を第一に検討する ・他地区と格差ない対策を ・一関遊水地完成前に対策を ・浸水の情報連絡、避難体制を万全にしたい
				水害時水位の上昇下降がわからないため、水門に水位の測定用目盛りをつけてほしい	
	交通安全	カーブミラーの設置(町)	済		
地域福祉	福祉				
	健康				
体育振興	スポーツ振興	ゲートボール場の設定		地区民運動会は4年に1回でよい	
		体育祭の参加	済		
教育文化	文化・生涯学習	集落芸能(歌、踊)の講習会	済	行事が多い=地域の活性化と考えるのは間違えては。参加者が少なければ行事、会議も減らし人口に見合った計画を	
				芸能祭は集落単位でなく希望者で行う	
				地区公民館の行事が人口減少に対応していない。前年と同じ繰り返しは限界に達している。旧村単位のくくりがこのままでよいか考える時期	

5 構成団体等の平成27年度事業計画

月 日	4	5	6	月 日
1				1
2				2
3		憲法記念日		3
4	花泉中始業式(中P)	みどりの日		4
5	花泉中入学式(中P)	こどもの日		5
6	新入学期の交通事故防止推進期間 4/6～15(安協) 春の地域安全運動4/1～15(防犯)	振替休日		6
7	老松小始業式(老小) 老松地区老人クラブ総会(老ク)		グラウンドゴルフ(体協) 町一斉道路愛護作業(区長) 資機材点検(自防)	7
8	老松小入学式(老小)			8
9	新入学児交通安全指導4/9～15(交母)			9
10				10
11		春の全国交通安全運動5/11～20(安協)		11
12	資機材点検(自防)			12
13				13
14			ゲートボール大会(老ク)	14
15		米づくり体験学習田植え(老小)		15
16			陸上競技大会(老小)	16
17	米づくり体験学習種まき(老小) 体育協会役員会・総会(体協)	花泉中学校運動会(中P)		17
18	老松小PTA総会(老小) 福祉推進協議会総会(福祉)			18
19	春の一斉清掃(区長)			19
20		交通事故死ゼロを目指す日(安協) 廃品回収(婦人)	自主防研修会(自防) 地区中総体5/20～21(中P)	20
21				21
22	交通安全協会老松分会総会(安協)			22
23		老松小運動会(老小)		23
24				24
25	花泉中授業参観・PTA総会(中P)		シニアスポーツ大会(老ク)	25
26				26
27				27
28				28
29	昭和の日	花泉地域防犯協会総会(防犯)		29
30				30
31				31

月 日	7	8	9	月 日
1		夏の交通事故防止県民運動8/1～10(安協) 夏祭り警備(防犯) 交通安全署名活動8/1～9/30(交母) 手踊りパレード(婦人)		1
2		日本一の餅つき大会 夏祭り警備(防犯) 町一斉道路愛護作業(区長)		2
3				3
4				4
5	町一斉河川愛護作業(区長)			5
6	花泉中2年職場体験7/6～10(中P)			6
7				7
8				8
9		老松地区夏まつり(みどり) 資機材点検(自防)	救命講習会(婦消)	9
10				10
11				11
12	夏季球技大会(体協)			12
13			敬老会(福協)	13
14				14
15			ゲートボール大会(老ク) 老松小修学旅行9/15～16(老小)	15
16				16
17			花泉中自由参観日(中P)	17
18	県中総体7/18～20(中P)		奉仕の日(老ク)	18
19			中学校地区新人戦9/19～20(中P)	19
20	海の日	老松小始業式(老小)		20
21		敬老会米寿祝い品作成(JA女)	敬老の日 秋の全国交通安全運動9/21～30(安協)	21
22		運動会草刈作業(体協)	国民の休日	22
23	花泉支部研修(老ク)		秋分の日	23
24	老松小終業式(老小)		グランドゴルフ(老ク) 米づくり体験学習稲刈り(老小)	24
25				25
26				26
27	花泉中地区奉仕活動(中P)	花泉中始業式(中P) 老松小5年宿泊学習8/27～28(老小)		27
28	花泉中終業式(中P)			28
29				29
30		老松地区大運動会(体協) 花泉町婦協移動研修(婦消)	交通事故死ゼロを目指す日(安協)	30
31				31

月 日	10	11	12	月 日
1			冬の交通事故防止県民運動12/1～10(安協)	1
2				2
3	花泉マラソン草刈作業(体協) 市民体育大会 (10月上旬～11月上旬)(体協)	文化の日		3
4				4
5		にこにこ交流会(老小・老ク)		5
6			資機材点検(自防)	6
7				7
8		秋季火災予防全戸訪問(婦協) 秋の火災予防週間11/8～14(自防)		8
9				9
10				10
11	花泉マラソン大会(体協) 全国地域安全運動10/11～20(防犯) 資機材点検(自防)			11
12	体育の日			12
13			いきいきサロン合同交流会(福祉) 年末年始花泉地域安全運動 12/13～1/3(防犯)	13
14	パトロール(防犯)			14
15			大名湯治の会12/15～16(老ク) パトロール(防犯)	15
16		災害救護研修会(自防)		16
17	高齢者の交通事故防止県民運動 10/17～31(安協) 老松小学習発表会(老小)			17
18	交通安全街頭指導(安協) 秋の一斉清掃(区長)			18
19				19
20	廃品回収(婦人)	老松小授業参観(老小)		20
21				21
22		花泉町内一周駅伝大会(体協)	老松小終業式(老小)	22
23	花泉中文化祭10/23～24(中P)	勤労感謝の日	天皇誕生日	23
24	ユニカール大会(老ク)		花泉中終業式(中P)	24
25	ふれあい給食(福祉)			25
26				26
27				27
28		花P連スポーツ交流会(中P)		28
29				29
30				30
31				31



月 日	1	2	3	月 日
1	元旦		春の火防予防週間3/1～7(自防)	1
2				2
3	年末年始花泉地域安全運動 12/13～1/3(防犯)		老松地区会員研修(老ク)	3
4				4
5				5
6			春季火災予防・初午全戸訪問(自防・婦協)	6
7		冬季球技大会(体協)		7
8	花泉中始業式(中P)			8
9			JA女性部総会(JA女)	9
10	消防出初式(婦協)			10
11	成人の日	建国記念の日		11
12			花泉中卒業式(中P)	12
13			ふれあい給食(福祉) 花泉中卒業式(中P)	13
14	老松小始業式(老小)	資機材点検(自防)		14
15	防災とボランティア週間1/15～21(自防)		新入学児への愛の鈴を市へ贈呈(婦人)	15
16			花泉中修了式(中P)	16
17	新年交賀会(みどり) 防災とボランティアの日(自防)			17
18		授業参観・家庭教育学級(老小)	老松小修了式(老小)	18
19			老松小卒業式(老小)	19
20			春分の日	20
21		花泉支部芸能まつり(老ク)	振替休日	21
22			新入学児へのわら細工を市へ贈呈(JA女)	22
23				23
24	文化財予防デー(自防)			24
25			新入学児わら細工の贈呈(JA女) 入学児愛の鈴の贈呈(婦人)	25
26				26
27			自主防総会(自防)	27
28				28
29				29
30				30
31				31



## 第 4 章 資 料 編



## 第4章 資料編

### 1 老松みどりの郷協議会規約・運営規定

#### 老松みどりの郷協議会規約

(名称)

第1条 この会は、老松みどりの郷協議会（以下「本会」という。）と称し、事務所を老松市民センターに置く。

(目的)

第2条 本会は、豊かな住みよい地域づくりを推進することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 地域住民の参画によるまちづくりの推進に関する事
- (2) 地域の活性化、福祉、健康、生活環境の改善に関する事
- (3) 教育・文化の向上と生涯学習、生涯スポーツに関する事
- (4) 安全・安心な地域づくりに関する事
- (5) 地区内の各種団体等の活性化及び各種団体相互の連絡協調に関する事
- (6) その他目的達成のための事業に関する事

(組織)

第4条 本会は、老松地区に居住する者及び地区内に組織されている各種団体等〔別表1〕をもって組織とする。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1人
- (2) 副 会 長 2人
- (3) 理 事 30人以内（別表1の代表者）
- (4) 監 事 2人

2 会長、副会長及び監事は、理事会で選出する。

(任期)

第6条 役員任期は2年とする。但し再任を妨げない。

2 補欠による役員任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の仕事)

第7条 会長は、本会を代表し会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その仕事を代理する。

3 理事は、会長、副会長とともに理事会を組織し、仕事の推進にあたる。

4 監事は、会計及び会務を監査し、これを総会に報告する。

(会議)

第8条 本会の会議は総会及び理事会とし、会長が招集する。

(総会)

第9条 総会は代議員をもって構成し、毎年1回会長が招集する。

ただし会長が必要と認めたときは、臨時に招集することができる。

- 2 代議員は〔別表2〕のとおりとする。
- 3 総会の議長は代議員の中から選出する。
- 4 総会は代議員の過半数の出席をもって成立し、その議事は出席者の過半数で議決する。可否同数の場合は、議長がこれを決する。
- 5 総会は、次の事項を審議する。
  - (1) 規約の改廃に関する事。
  - (2) 事業報告及び収支決算の承認に関する事。
  - (3) 事業計画及び収支予算の決定に関する事。
  - (4) 役員承認に関する事。
  - (5) その他、理事会において必要と認められる事。

(理事会)

第10条 理事会は必要に応じ会長が招集し、次の事項を協議する。

- (1) 総会に付議する事項。
- (2) 総会の決定に基づく事業の執行に関する事項。
- (3) 事務局長及び事務局員の採用。
- (4) その他会長が必要と認められる事項。

(専門部)

第11条 本会を円滑に運営するため、次の専門部を設置する。

- (1) 地域環境部
- (2) 地域振興部
- (3) 地域安全部
- (4) 地域福祉部
- (5) 体育振興部
- (6) 教育文化部

2 部会の運営は、別に定める。

3 部長は、理事の中から理事会で選任する。

(経費)

第12条 本会の経費は、会費、助成費、寄付金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第13条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第14条 本会の事務局を老松市民センター内に置く。

2 事務局に、事務局長及び事務局員を置き、会長が任命する。

3 事務局長は、会長の命により会務を処理し事務局を総括する。

4 事務局員は、事務局長の命を受け会務を処理する。

(その他必要な事項)

第15条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は会長が定める。

附 則

この規約は、平成26年6月29日から施行する。

この規約は、平成27年6月12日から施行する。

設立年度の事業計画及び収支予算については、理事会で決定する。

〔別表 1〕（組織＝代表者が理事＝30団体）

蛭沢・四日市場・水沢・汁足・御組・佐野原・宿・藤田・宮沢・上・館平・照盛・小沼集落公民館、老松地区行政区長会、老松地域婦人会、老松活力促進協議会、JAいわて平泉女性部老松支部、老松地区自主防災会、花泉町婦人消防協力隊第5分隊、花泉地域防犯協会老松支部、一関地区交通安全老松分会、花泉地域交通安全母の会老松地区会、老松地区福祉推進協議会、老松地区民生児童委員連絡協議会、老松地区老人クラブ、老松地区体育協会、老松活性化同志会、老松小学校、老松小学校PTA、花泉中学校老松地区PTA

〔別表 2〕（代議員＝47人）

蛭沢集落2人、四日市場集落2人、水沢集落2人、汁足集落2人、御組集落2人、佐野原集落2人、宿集落2人、藤田集落2人、宮沢集落2人、上集落2人、館平集落2人、照盛集落2人、小沼集落2人、老松地区行政区長5人、老松地域婦人会1人、老松活力促進協議会1人、JAいわて平泉女性部老松支部1人、老松地区自主防災会1人、花泉町婦人消防協力隊第5分隊1人、花泉地域防犯協会老松支部1人、一関地区交通安全老松分会1人、花泉地域交通安全母の会老松地区会1人、老松地区福祉推進協議会1人、老松地区民生児童委員連絡協議会1人、老松地区老人クラブ1人、老松地区体育協会1人、老松活性化同志会1人、老松小学校1人、老松小学校PTA1人、花泉中学校老松地区PTA1人

## 老松みどりの郷協議会専門部運営規定

(目的)

第1条 この規定は、老松みどりの郷協議会規約(以下「規約」という。)第11条に定める専門部の運営等に関し、必要な事項について定めるものとする。

(専門部の目的)

第2条 専門部は、規約第2条の目的達成のため、規約第3条に掲げる事業を専門的に推進するものとする。構成員及び人数については、別表3のとおりとする。

(1) 地域環境部

地域課題の対策及び生活環境の整備促進について

(2) 地域振興部

地域産業の推進について

(3) 地域安全部

安全・安心な地域づくりについて

(4) 地域福祉部

地域福祉の向上及び健康増進について

(5) 体育振興部

生涯スポーツの推進について

(6) 教育文化部

教育・文化の向上と生涯学習の推進について

2 事業目的の達成のため必要があるときは、関連団体及び有識者の協力を得て事業推進するものとする。

(役員)

第3条 各専門部に次の役員を置く

(1) 部長 1人

(2) 副部長 1人

(3) 書記 1人

2 部長は、理事の中から理事会で選任する(規約第11条の3)。副部長及び書記は、構成員の中から部長が委嘱する。

3 任期は本協議会役員任期と同じとする。

(役員の仕事)

第4条 役員の仕事は次のとおりとする。

1 部長は、部会を代表し部会を統括する。

2 副部長は、部長を補佐し部長に事故ある時はその職務を代行する。

3 書記は、部の庶務を担当する。



(会 議)

第5条 会議は、会長の要請又は、専門部長が必要に応じて随時開催するものとする。

2 専門部長は、専門部会の議長となる。

3 専門部長は、必要に応じて関係する専門部会と合同の会議を開催することができる。

(その他必要な事項)

第6条 この規定に定めるもののほか、必要な事項は理事会で定める。

附 則

この規定は、平成26年12月1日から施行する。

この規定は、平成27年4月1日から施行する。

別表3

専門部	構成員(団体推薦者)及び人数	専門部人数
地域環境部	老松地区集落公民館	3人
	老松地区行政区長	6人
	老松地域婦人会	1人
地域振興部	老松地区活力促進協議会	1人
	JAいわて平泉女性部老松支部	1人
	老松地区集落公民館	2人
	おいまつ柿援隊	1人
地域安全部	花泉地域防犯協会老松支部	1人
	老松地区自主防災会	1人
	花泉町婦人消防協力隊第5分隊	1人
	一関地区交通安全老松分会	1人
	花泉地域交通安全母の会老松地区会	1人
	老松地区集落公民館	2人
地域福祉部	老松地区福祉推進協議会	1人
	老松地区民生児童委員連絡協議会	1人
	老松地区老人クラブ	1人
	老松地区集落公民館	2人
	ぼたんの会	1人
体育振興部	老松地区体育協会	1人
	老松地区集落公民館	2人
	老松スポーツ少年団	1人
教育文化部	老松活性化同志会	1人
	老松小学校	1人
	老松小学校PTA	1人
	花泉中学校老松地区PTA	1人
	老松地区集落公民館	2人
	老松大黒舞保存会	1人
	老松先人顕彰太鼓保存会	1人

### 3 老松地区発行冊子

作成年度	地区資源資料	編集者
H9.3	年中行事「おらほのしきたり」	年中行事調査編集委員会
H12.3	おらほの名人	おらほの名人作成編集委員
H13.3	和算家 千葉胤秀ガイドブック	千葉胤秀顕彰事業実行委員会
H14.3	医学者 千葉理安ガイドブック	老松偉人顕彰事業実行委員会
H15.3	義民 千葉惣左エ門ガイドブック	おらほの伝承事業実行委員会
H20.3	年中行事「おらほのしきたりⅡ」	老松公民館
H22.11	ことばの地元学講座「さざほざ」	さざほざど・な〇会 (花泉地域7公民館合同)
H23.9	集落防災マップ	老松消防後援会
H24.2	老松地区お宝マップ	老松地区お宝保存会
H25.8	老松地区お宝マップ第2版	老松地区お宝保存会



#### 4 防災資料

##### 1 土石流危険溪流

(岩手県土木部:土砂災害危険箇所図及び個別調書より転記)

No.	箇所名	溪流区分	所在地			土砂災害防止法		人家戸数	備考
			町	大字	小字	基礎調査	区域指定		
8	小沼の沢(2)	Ⅱ	花泉町	老松	小沼			3	
14	小沼の沢	準ずる	花泉町	老松	小沼				

##### 2 急傾斜地崩壊危険箇所

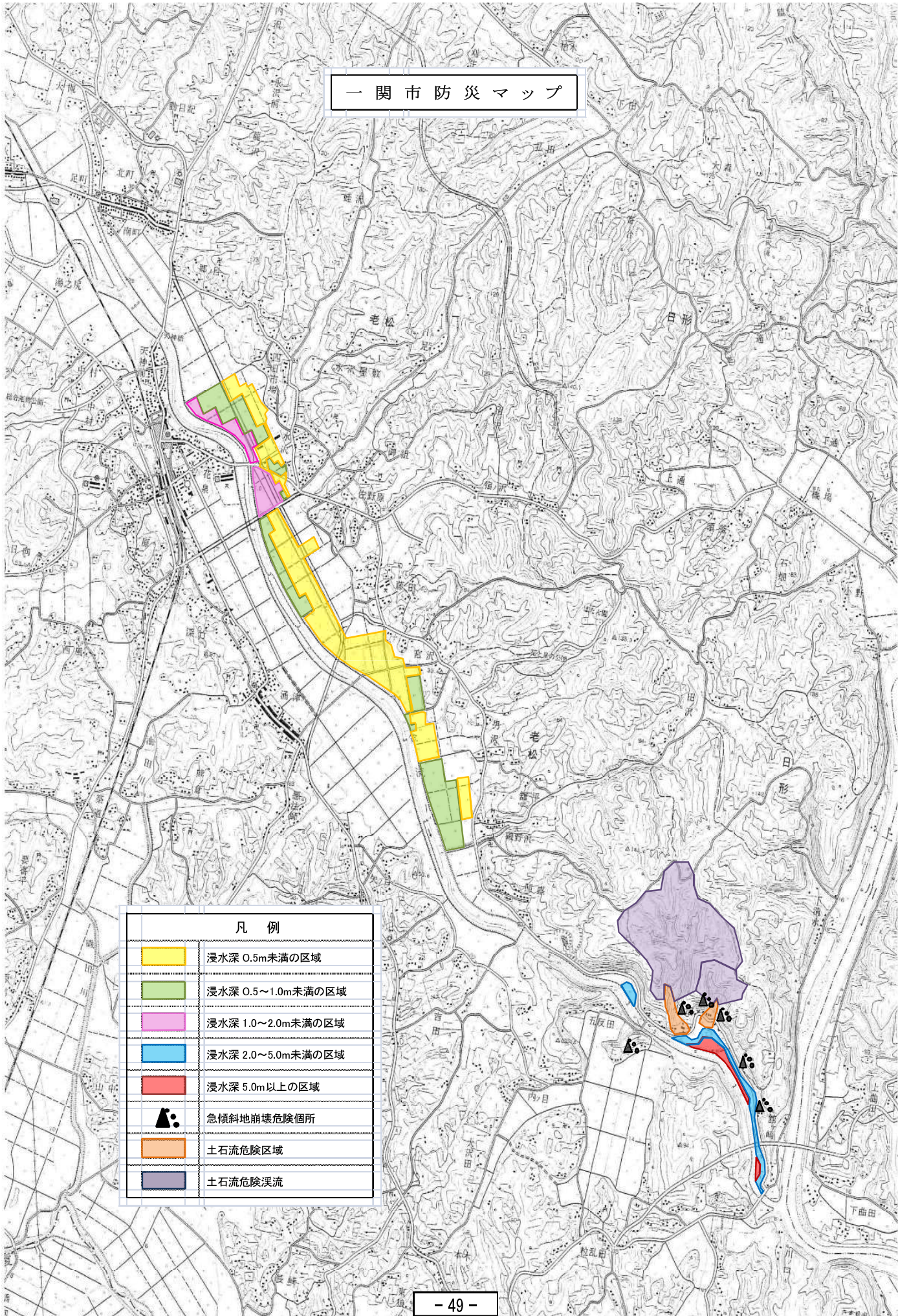
(岩手県土木部:土砂災害危険箇所図及び個別調書より転記)

No.	箇所名	溪流区分	所在地			土砂災害防止法		人家戸数	備考
			町	大字	小字	基礎調査	区域指定		
44	小沼	Ⅱ	花泉町	老松	小沼			1	
45	小沼-1	Ⅱ	花泉町	老松	小沼			1	
46	小沼-2	Ⅱ	花泉町	老松	小沼			1	
47	沼野沢	Ⅱ	花泉町	老松	沼野沢			3	
48	沼野沢-1	Ⅱ	花泉町	老松	沼野沢			2	
49	沼野沢-2	Ⅱ	花泉町	老松	沼野沢			1	
50	沼野沢-3	Ⅱ	花泉町	老松	沼野沢			1	

##### 3 避難所(災害時)一覧

施設名	住所	電話番号	構造・階数	延べ面積(m <sup>2</sup> )	収容人員	避難対象地域
花泉体育館	花泉町老松字水沢180	82-4060	S造 1	1,637	606	老松1区、老松3区
花泉総合福祉センター	花泉町老松字水沢193	82-4000	RC造 2	1,940	349	老松2区
老松市民センター	花泉町老松字藤田274-2	36-1235	W造 1	500	104	老松4区
老松小学校	花泉町老松字藤田215	82-3325	RC造 3	1,730	338	老松5区、老松6区
老松小学校体育館	花泉町老松字藤田215	82-3325	S造 1	560	220	老松5区、老松6区

# 一関市防災マップ



凡 例	
	浸水深 0.5m未滿の区域
	浸水深 0.5~1.0m未滿の区域
	浸水深 1.0~2.0m未滿の区域
	浸水深 2.0~5.0m未滿の区域
	浸水深 5.0m以上の区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	土石流危険区域
	土石流危険溪流

老松地区地域づくり計画書

---

〒029-3103

岩手県一関市花泉町老松字藤田274-2

**老松みどりの郷協議会**

電話 0191(82)5153 <FAX兼用>